

令和6年 歯科疾患実態調査結果の概要

【目次】

I	調査の概要	P. 1
1.	調査の目的	P. 1
2.	調査の対象	P. 1
3.	調査の期日	P. 1
4.	調査事項	P. 1
5.	調査系統	P. 1
6.	結果の集計	P. 2
7.	被調査者数	P. 3
II	結果の概要	P. 5
1.	歯・補綴の状況	P. 5
(1)	乳歯	P. 5
(2)	乳歯＋永久歯	P. 8
(3)	永久歯	P. 9
2.	歯肉の状況	P. 21
3.	フッ化物応用の経験の有無	P. 24
4.	歯をみがく頻度	P. 27
5.	歯や口の状態	P. 28
6.	歯や口の清掃状況	P. 31
7.	歯科検診（健診）の受診状況	P. 32
8.	矯正歯科治療の経験の有無	P. 35
III	巻末資料	P. 36

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、わが国の歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的とした。

2. 調査の対象

令和2年国勢調査の一般調査区から、475地区（各道府県あたり10地区、東京都のみ15地区）を無作為に抽出し、当該地区（令和6年国民健康・栄養調査の調査地区と同じ）内の満1歳以上の世帯員（約54,000人）を調査の対象者とした。ただし、令和6年能登半島地震の影響により、石川県の2地区を除いた。

3. 調査の期日

令和6年の10月又は11月中の任意の1日

4. 調査事項（調査票を巻末資料として36頁に掲載）

1）質問紙調査（報告者本人が記入）

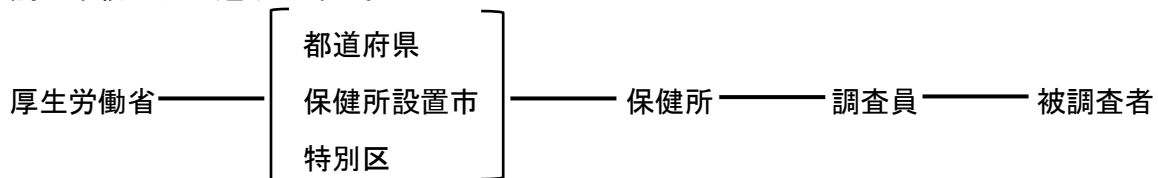
- ・ 歯や口の状態
- ・ 歯をみがく頻度
- ・ 歯や口の清掃状況
- ・ 過去1年間における歯科検診（健診）の受診状況

2）口腔診査（聞き取りを含む、調査員が記入）

- ・ フッ化物応用の経験の有無
- ・ 矯正歯科治療の経験の有無
- ・ 歯・補綴の状況
- ・ 歯肉の状況

5. 調査系統

調査系統は次の通りである。



6. 結果の集計

今回の調査対象は、「2. 調査の対象」で述べたように各都道府県の調査地区数が東京都を除いて同じであることから、全国値の集計にあたっては、都道府県の人口規模が反映されるような集計を行った。

具体的には、都道府県ごとの「2024 年 10 月 1 日現在の 1 歳以上の日本人人口」を、本調査における質問紙調査と口腔診査それぞれの対象者数で除して拡大乗数を算出し、これを各都道府県の重みとして、割合・平均値・標準偏差等を算出し、これを全国重み付け補正值（以下、「全国補正值」という。）とした。

拡大乗数の算出に用いた都道府県ごとの「2024 年 10 月 1 日現在の 1 歳以上の日本人人口」は、「人口推計」の「2023 年 10 月 1 日現在の 0 歳以上の日本人人口」について、「人口動態調査月報（概数）」の「2023 年 7 月～2024 年 6 月の 1 年間の死亡数（乳児死亡を除く）」を減じ（2024 年 7～9 月の死亡数が未公表のため）、「住民基本台帳人口移動報告」の「2023 年 10 月～2024 年 9 月の 1 年間の都道府県間転入超過数」を加算して算出している。

なお、本調査では、今までの歯科疾患実態調査と同様、年次推移を示したが、前回（令和 4 年）以前の調査では今回（令和 6 年）のような重み付けた集計を行っておらず、集計方法が異なるため、注意を要する。

7. 被調査者数

被調査者数は14,695人（男6,738人、女7,957人）であり、口腔診査受診者は8,560人（男3,849人、女4,711人）、質問紙回答者は14,678人（男6,728人、女7,950人）であった。また、口腔診査受診者数と質問紙回答者数はともに70～74歳で最も多く、それぞれ1,074人、1,607人であった。

（表1、図1）。

表2は被調査者の推移を示したものであり、図2はこのうち、口腔診査受診者の推移を示したものである。

表1. 被調査者数（口腔診査受診者数、質問紙回答者数、総数）、性・年齢階級別

年齢階級 (歳)	口腔診査受診 (人)			質問紙回答者数 (人)			総数 (人)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1～4	109	94	203	186	186	372	186	188	374
5～9	167	154	321	278	270	548	279	270	549
10～14	136	129	265	278	271	549	279	273	552
15～19	65	79	144	207	214	421	207	215	422
20～24	72	84	156	187	218	405	188	218	406
25～29	59	107	166	150	201	351	150	201	351
30～34	108	123	231	218	243	461	218	243	461
35～39	130	209	339	281	363	644	281	363	644
40～44	173	269	442	359	432	791	359	432	791
45～49	207	291	498	405	490	895	406	490	896
50～54	221	333	554	477	588	1,065	478	588	1,066
55～59	224	360	584	414	575	989	415	577	992
60～64	295	370	665	495	576	1,071	496	576	1,072
65～69	409	453	862	608	710	1,318	608	710	1,318
70～74	506	568	1,074	742	865	1,607	743	865	1,608
75～79	474	525	999	712	783	1,495	714	783	1,497
80～84	324	354	678	451	546	997	451	546	997
85～	170	209	379	280	419	699	280	419	699
計	3,849	4,711	8,560	6,728	7,950	14,678	6,738	7,957	14,695

注：質問紙を回答せず、口腔診査のみ受診した人が17人いるため、総数が質問紙回答者数よりも多い。

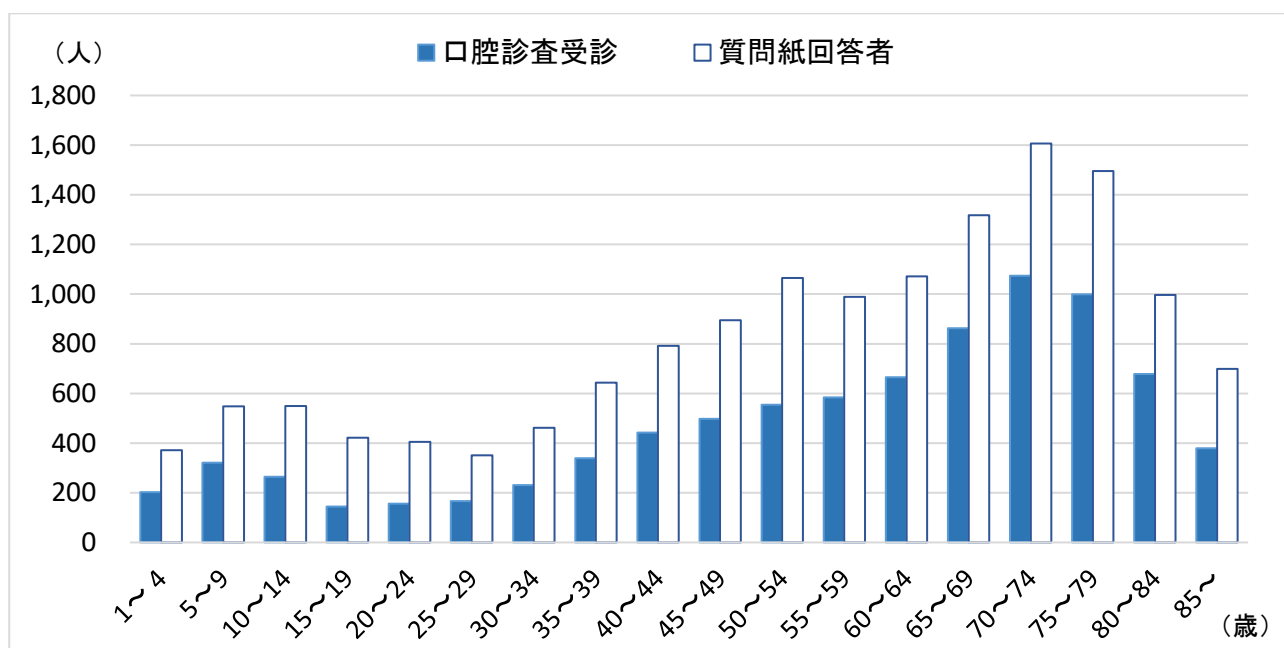


図1. 口腔診査受診者数と質問紙回答者数（年齢階級別）

表 2. 被調査者数の推移（昭和32（1957）年～令和 6（2024）年）¹⁾

	昭和32年	昭和38年	昭和44年	昭和50年	昭和56年	昭和62年	平成 5 年	平成11年	平成17年	平成23年	平成28年 ²⁾	令和 4 年 ²⁾	令和 6 年 ²⁾
	(1957年)	(1963年)	(1969年)	(1975年)	(1981年)	(1987年)	(1993年)	(1999年)	(2005年)	(2011年)	(2016年)	(2022年)	(2024年)
	(第 1 回)	(第 2 回)	(第 3 回)	(第 4 回)	(第 5 回)	(第 6 回)	(第 7 回)	(第 8 回)	(第 9 回)	(第10回)	(第11回)	(第12回)	(第13回)
総 数	30,504	24,068	20,100	15,816	14,462	12,474	9,827	6,903	4,606	4,253	6,278	2,709	14,695
男	13,954	10,383	8,885	6,851	6,232	5,209	4,210	2,865	1,926	1,812	2,868	1,239	6,738
女	16,550	13,685	11,215	8,965	8,230	7,265	5,617	4,038	2,680	2,441	3,410	1,470	7,957
1～9歳	7,496	4,505	3,509	3,040	2,588	2,011	1,361	761	412	365	512	163	923
10～19歳	6,341	5,523	3,633	2,328	2,220	1,741	1,200	614	327	283	456	184	974
20～29歳	4,055	2,815	2,549	2,044	1,375	989	701	557	279	211	358	108	757
30～39歳	3,991	3,556	3,103	2,451	2,269	1,840	1,277	807	436	464	624	209	1,105
40～49歳	3,334	2,800	2,852	2,360	2,106	1,661	1,467	876	506	437	824	313	1,687
50～59歳	2,665	2,375	2,157	1,608	1,872	1,775	1,468	1,063	704	543	814	351	2,058
60～69歳	1,752	1,710	1,448	1,250	1,174	1,432	1,372	1,236	930	835	1210	441	2,390
70～79歳	721	668	706	614	699	811	756	807	769	784	957	615	3,105
80歳～	149	116	143	121	159	214	225	182	243	331	523	325	1,696
(再掲：口腔診査受診者のみ)													
乳歯 (1～14歳)	11,386	8,040	5,542	4,457	3,999	3,081	2,073	1,104	620	535	440	220	789
乳歯＋永久歯 (5～14歳)	8,688	6,254	4,021	3,047	2,983	2,256	1,533	771	455	380	316	162	586
永久歯 (5歳～)	27,812	22,282	18,579	14,406	13,446	11,649	9,287	6,570	4,441	4,098	3,696	2,259	8,357

注：1) 昭和32（1957）年～昭和44（1969）年調査では調査対象者に0歳児を含んでいたが、本表では年次推移を示すために1歳未満の者を除いた人数を掲載した。

注：2) 平成28(2016)年・令和 4 (2022)年・令和 6 (2024)年の数値は質問紙調査のみの被調査者を含む。

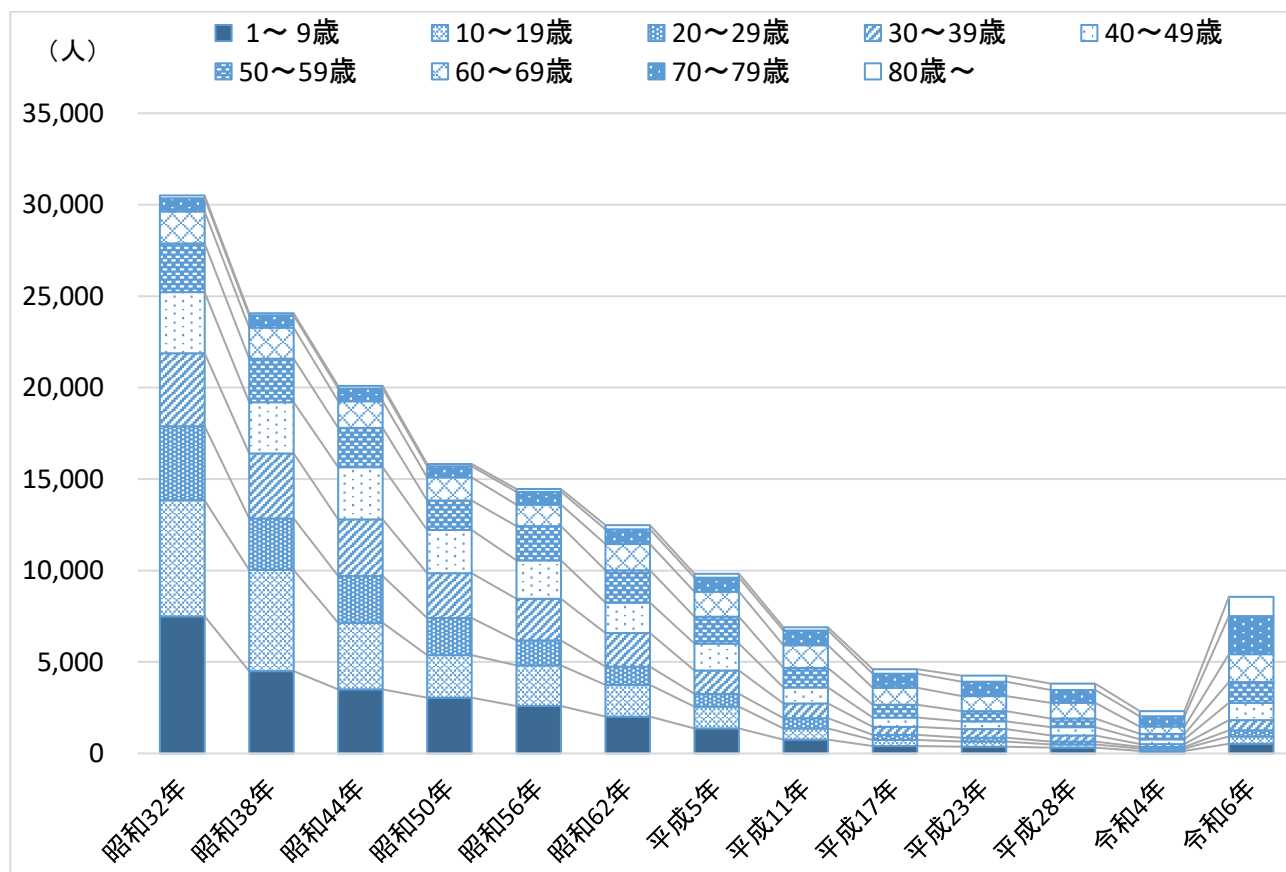


図 2. 被調査者数の推移（口腔診査受診者のみ）

Ⅱ 結果の概要

1. 歯・補綴の状況

(1) 乳歯

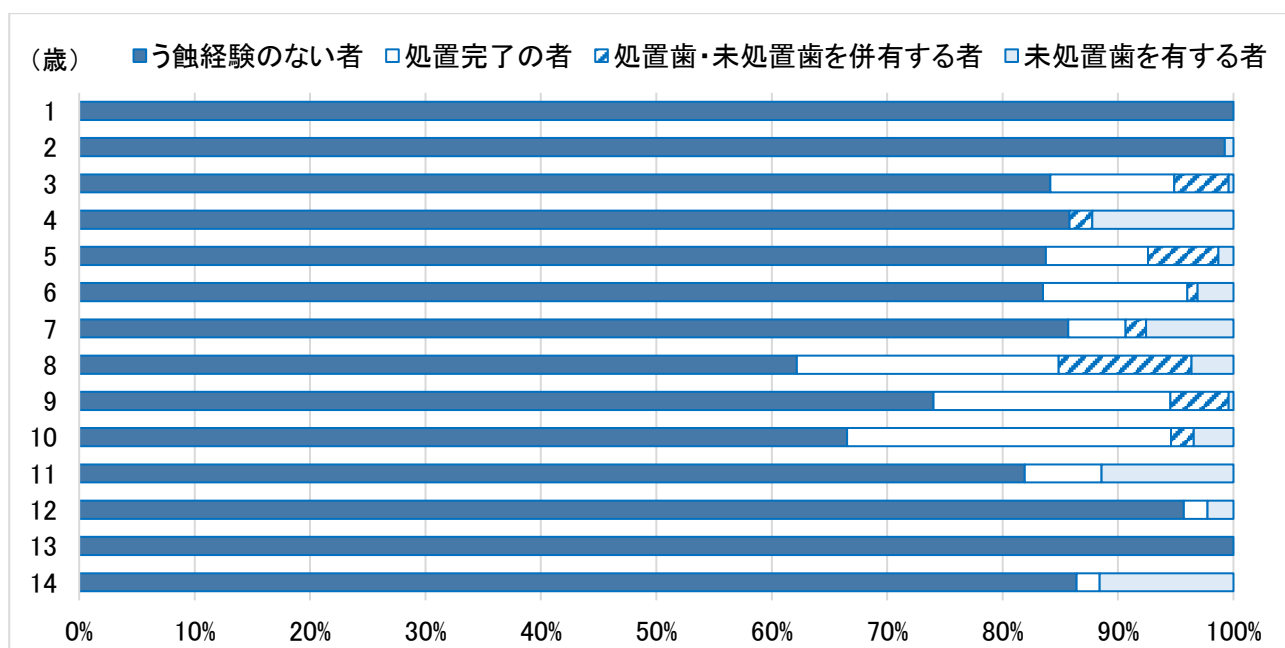
う蝕経験を有する者の割合は、8歳で最も多く37.8%であった（表3、図3）。

14歳以下の各年齢において過去の調査と比較すると、う蝕経験を有する者の割合（表4-1、表4-2、図4）および1人平均う蝕歯数（dft 指数）は概ね減少傾向であった（表5-1、表5-2、図5）。

表3. う蝕経験を有する者の数及び割合（乳歯：1～14歳）

年齢 (歳)	被調査 者数 (人)	人数(人)					割合(%)				
		う蝕経 験のな い者	総数	う蝕経験を有する者			う蝕経 験のな い者	総数	う蝕経験を有する者		
				処置完 了の者	処置 歯・未 処置 歯を併 有する 者	未処置 歯を有 する者			処置完 了の者	処置 歯・未 処置 歯を併 有する 者	未処置 歯を有 する者
総数	789	660	129	70	28	31	84.3	15.7	8.8	2.9	4.0
1	55	55	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
2	41	40	1	-	-	1	99.3	0.7	-	-	0.7
3	60	57	3	1	1	1	84.1	15.9	10.7	4.7	0.4
4	47	45	2	-	1	1	85.8	14.2	-	2.0	12.2
5	63	52	11	6	2	3	83.7	16.3	8.8	6.1	1.3
6	53	39	14	8	2	4	83.5	16.5	12.5	0.9	3.1
7	70	56	14	6	3	5	85.7	14.3	5.0	1.8	7.6
8	77	46	31	15	11	5	62.2	37.8	22.7	11.5	3.6
9	58	39	19	12	6	1	74.0	26.0	20.5	5.0	0.4
10	47	32	15	11	2	2	66.5	33.5	28.1	2.0	3.4
11	65	53	12	8	-	4	81.9	18.1	6.7	-	11.4
12	66	62	4	2	-	2	95.7	4.3	2.1	-	2.2
13	39	39	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
14	48	45	3	1	-	2	86.4	13.6	2.0	-	11.6

注：割合(%)は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。



注：割合(%)は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図3. う蝕経験を有する者の割合（乳歯：1～14歳）

表 4－1．う蝕経験を有する者の割合の年次推移（乳歯：1～14 歳）

（％）

年齢 (歳)	平成 11 年 (1999 年)	平成 17 年 (2005 年)	平成 23 年 (2011 年)	平成 28 年 (2016 年)	令和 4 年 (2022 年)	令和 6 年 (2024 年)
1	1.2	3.1	－	－	7.1	－
2	21.5	17.8	7.5	7.4	－	0.7
3	36.4	24.4	25.0	8.6	－	15.9
4	41.5	44.2	34.8	36.0	－	14.2
5	64.0	60.5	50.0	39.0	17.6	16.3
6	78.0	63.4	42.1	45.5	30.8	16.5
7	78.0	67.3	55.6	35.3	35.3	14.3
8	85.9	61.7	69.2	55.8	22.2	37.8
9	79.8	72.1	46.7	65.6	20.0	26.0
10	60.7	62.5	52.1	27.3	23.5	33.5
11	41.3	38.3	26.3	28.1	15.0	18.1
12	12.5	17.1	27.0	3.4	7.1	4.3
13	9.2	2.4	14.3	11.1	－	－
14	1.4	3.2	－	－	－	13.6

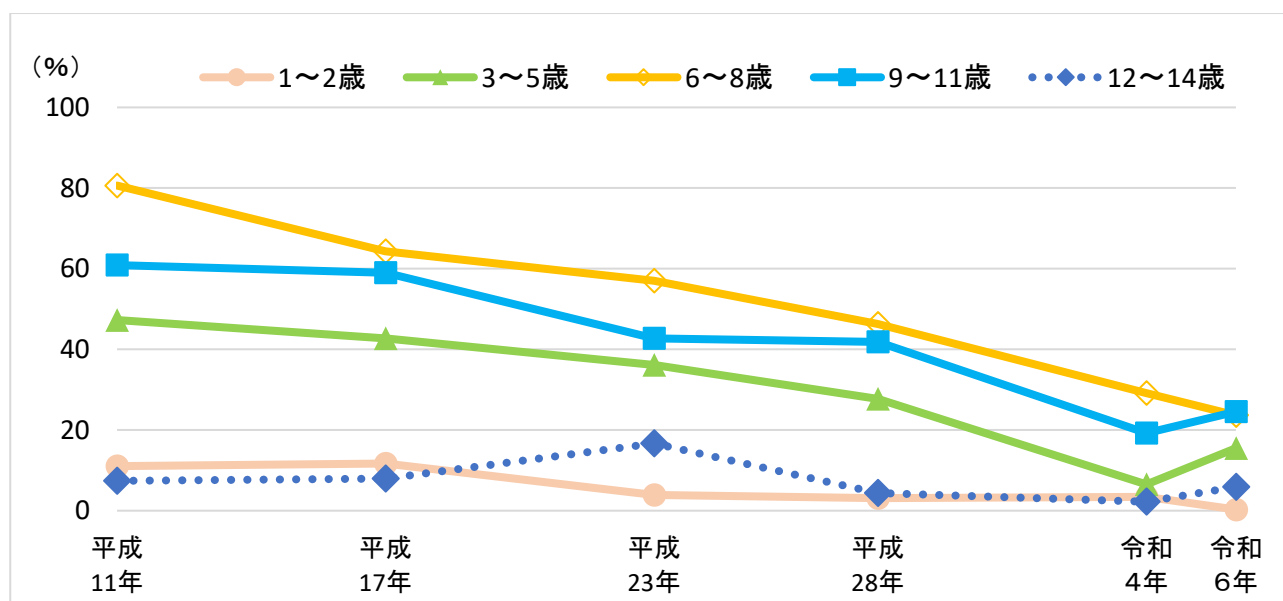
注：令和 6（2024）年の割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

表 4－2．う蝕経験を有する者の割合の年次推移（乳歯：1～14 歳、年齢階級別）

（％）

年齢階級 (歳)	平成 11 年 (1999 年)	平成 17 年 (2005 年)	平成 23 年 (2011 年)	平成 28 年 (2016 年)	令和 4 年 (2022 年)	令和 6 年 (2024 年)
1～2	11.0	11.7	3.9	3.1	3.5	0.3
3～5	47.3	42.8	36.1	27.7	6.5	15.5
6～8	80.6	64.3	57.0	46.3	29.2	23.6
9～11	60.9	59.0	42.8	41.9	19.2	24.5
12～14	7.4	8.0	16.7	4.4	2.2	5.9

注：令和 6（2024）年の割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。



注：令和 6（2024）年の割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 4．う蝕経験を有する者の割合の年次推移（乳歯：1～14 歳、年齢階級別）

表5－1. 1人平均う蝕歯数（dft 指数）の年次推移（乳歯：1～14歳）

(本)

年齢 (歳)	平成11年 (1999年)	平成17年 (2005年)	平成23年 (2011年)	平成28年 (2016年)	令和4年 (2022年)	令和6年 (2024年)
1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
2	0.8	0.4	0.2	0.3	0.0	0.0
3	2.1	0.9	0.6	0.3	0.0	0.3
4	2.5	2.9	1.5	0.9	0.0	0.4
5	3.7	2.3	2.8	1.7	0.7	0.4
6	5.0	3.7	1.8	2.4	1.2	0.8
7	4.0	4.1	2.6	1.4	1.5	0.4
8	4.8	3.0	3.0	1.7	0.6	1.3
9	3.5	3.6	1.7	2.1	0.6	0.6
10	2.2	2.1	2.0	0.6	0.5	1.1
11	1.1	1.0	0.7	0.8	0.3	0.3
12	0.2	0.3	0.5	0.2	0.1	0.1
13	0.2	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0
14	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1

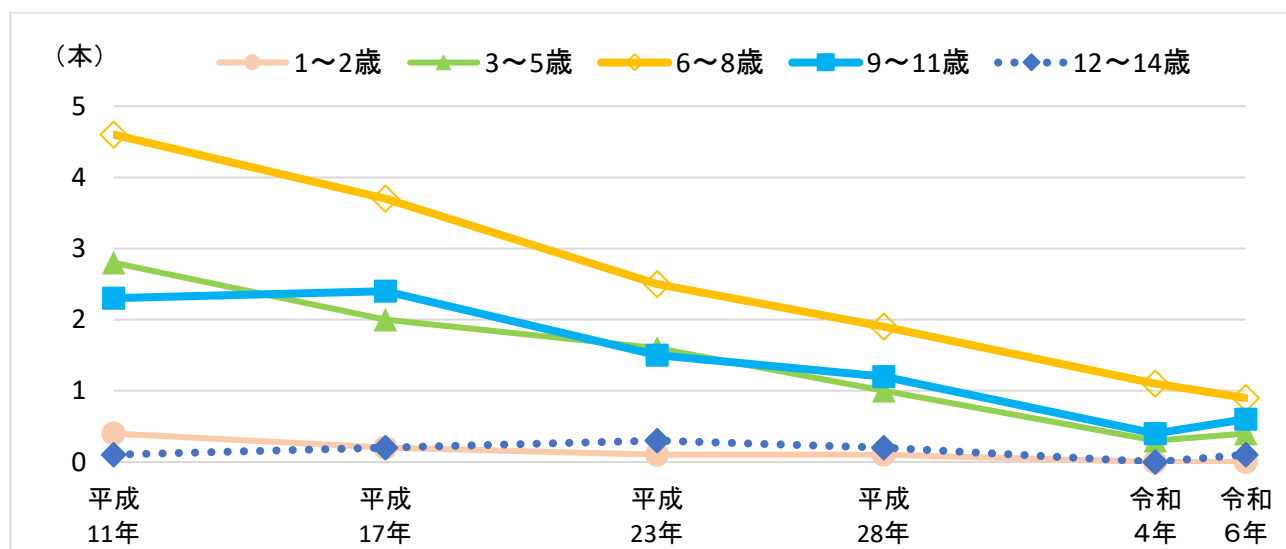
注：令和6（2024）年の平均値は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值である。

表5－2. 1人平均う蝕歯数（dft 指数）の年次推移（乳歯：1～14歳、年齢階級別）

(本)

年齢階級 (歳)	平成11年 (1999年)	平成17年 (2005年)	平成23年 (2011年)	平成28年 (2016年)	令和4年 (2022年)	令和6年 (2024年)
1～2	0.4	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0
3～5	2.8	2.0	1.6	1.0	0.3	0.4
6～8	4.6	3.7	2.5	1.9	1.1	0.9
9～11	2.3	2.4	1.5	1.2	0.4	0.6
12～14	0.1	0.2	0.3	0.2	0.0	0.1

注：令和6（2024）年の平均値は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值である。



注：令和6（2024）年の平均値は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值である。

図5. 1人平均う蝕歯数（dft 指数）の年次推移（乳歯：1～14歳、年齢階級別）

(2) 乳歯＋永久歯

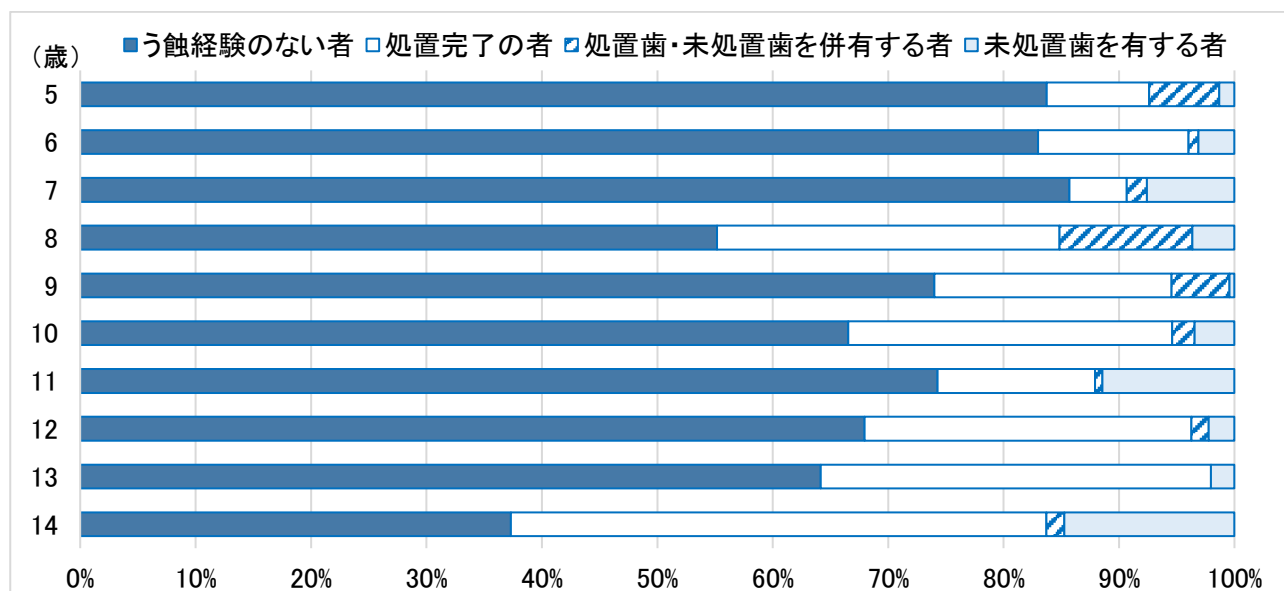
5～14歳の被調査者のうち28.6%が乳歯又は永久歯にう蝕経験を有していた。

また、未処置のう蝕を持つ者の割合（処置歯・未処置歯を併有する者と未処置歯を有する者の合計）は、13歳が2.0%で最も低く、14歳が16.2%で最も高かった（表6、図6）。

表6. う蝕経験を有する者の数及び割合（乳歯＋永久歯：5～14歳）

年齢 (歳)	被調査 者数 (人)	人数(人)					割合(%)				
		う蝕 経験 のない 者	総数	う蝕経験を有する者			う蝕 経験 のない 者	総数	う蝕経験を有する者		
				処置完 了の者	処置 歯・未 処置歯 を併有 する者	未処置 歯を有 する者			処置完 了の者	処置 歯・未 処置歯 を併有 する者	未処置 歯を有 する者
総数	586	418	168	105	31	32	71.4	28.6	20.2	3.7	4.7
5	63	52	11	6	2	3	83.7	16.3	8.8	6.1	1.3
6	53	38	15	9	2	4	83.0	17.0	13.0	0.9	3.1
7	70	56	14	6	3	5	85.7	14.3	5.0	1.8	7.6
8	77	44	33	17	11	5	55.2	44.8	29.7	11.5	3.6
9	58	39	19	12	6	1	74.0	26.0	20.5	5.0	0.4
10	47	32	15	11	2	2	66.5	33.5	28.1	2.0	3.4
11	65	49	16	11	1	4	74.3	25.7	13.6	0.6	11.4
12	66	53	13	9	2	2	68.0	32.0	28.3	1.5	2.2
13	39	31	8	7	—	1	64.2	35.8	33.8	—	2.0
14	48	24	24	17	2	5	37.3	62.7	46.4	1.5	14.7

注：割合(%)は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。



注：割合(%)は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図6. う蝕経験を有する者の割合（乳歯＋永久歯：5～14歳）

(3) 永久歯

[1] う蝕の状況

う蝕経験を有する者の割合は、5歳以上10歳未満では4.2%であったが、35歳以上85歳未満では90%以上と高かった（表7、図7）。また、未処置の根面う蝕を有する者は30歳以降から存在し、未処置の根面う蝕を有する者の割合は、85歳以上が19.0%で最も高かった（表7）。

う歯を持つ者の割合の年次推移は、5歳以上35歳未満では減少傾向であったが、55歳以上では増加傾向にあった（表8、図8）。

5歳以上から15歳未満の1人平均DMF歯数（DMFT指数）の年次推移は、概ね減少傾向であった（表9、図9）。

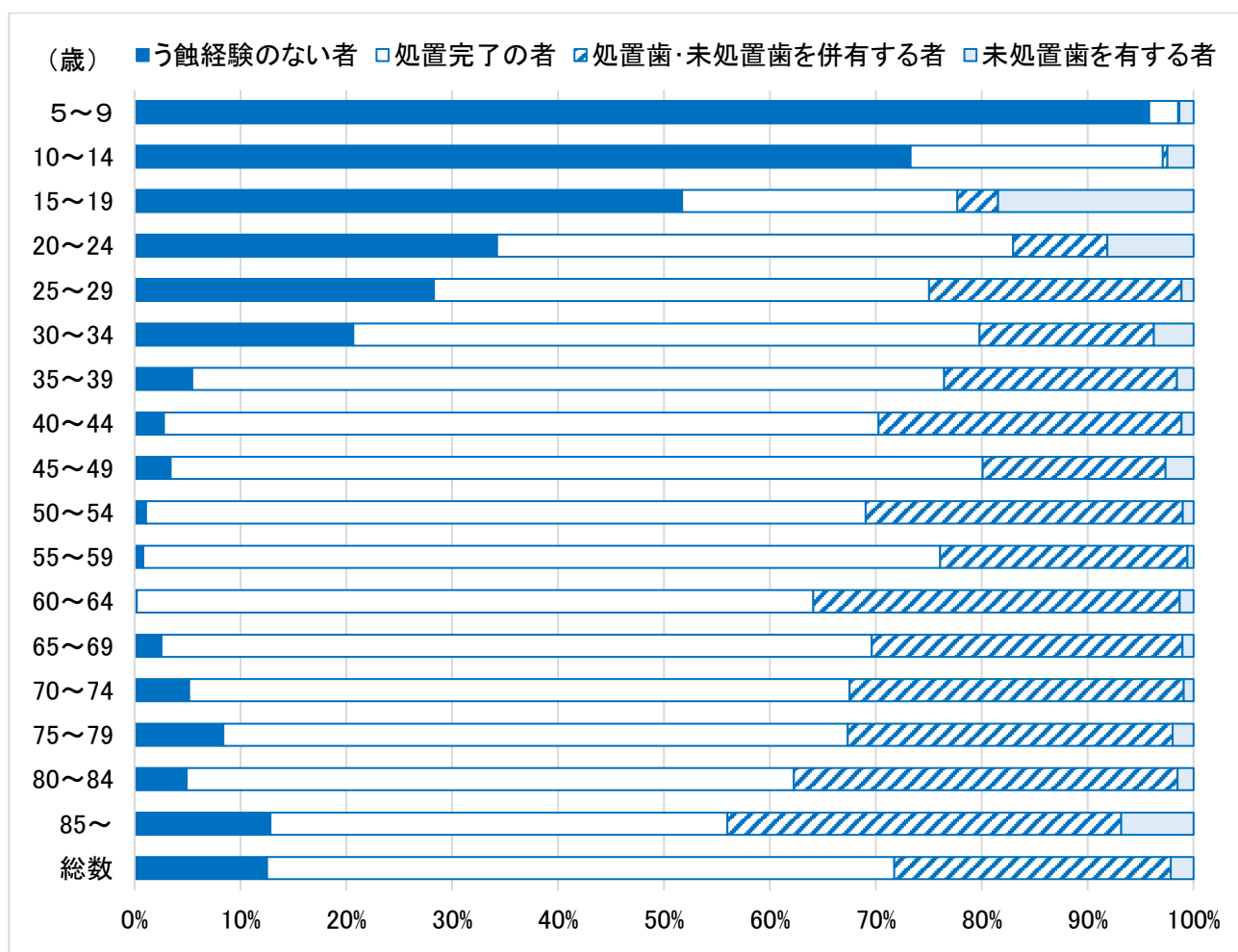
15歳以上の1人平均DMF歯数（DMFT指数）の年次推移は、いずれの年齢階級においても減少傾向であった（表10、図10）。

未処置のう歯を有する者の割合（処置歯・未処置歯を併有する者と未処置歯を有する者の合計）は、全体では28.2%であり、特に60歳以降はいずれの年齢階級においても30%を超えていた。また、男女を比較するとほとんどの年齢階級で男性の方が高かった（表11、図11）。

表7. う蝕経験を有する者の数及び割合（永久歯：5歳以上）

年齢階級 (歳)	被調査 者数 (人)	人数 (人)						割合 (%)					
		う蝕経 験のな い者	う蝕経験を有する者				未処置 の根面 う蝕を 有する 者	う蝕経 験のな い者	う蝕経験を有する者				未処置 の根面 う蝕を 有する 者
			総数	処置完 了の者	処置歯・ 未処置 歯を併 有する 者	未処置 歯を有 する者			総数	処置完 了の者	処置歯・ 未処置 歯を併 有する 者	未処置 歯を有 する者	
総数	8,357	1,061	7,296	4,895	2,241	160	628	12.5	87.5	59.2	26.1	2.1	7.5
5～9	321	308	13	8	1	4	—	95.8	4.2	2.8	0.1	1.3	—
10～14	265	212	53	40	3	10	—	73.3	26.7	23.8	0.4	2.4	—
15～19	144	83	61	39	10	12	—	51.7	48.3	26.0	3.8	18.4	—
20～24	156	56	100	70	15	15	—	34.2	65.8	48.7	8.9	8.1	—
25～29	166	32	134	83	45	6	—	28.3	71.7	46.8	23.9	1.1	—
30～34	231	33	198	144	47	7	3	20.7	79.3	59.1	16.4	3.8	1.4
35～39	339	28	311	226	79	6	4	5.5	94.5	71.0	22.0	1.6	3.2
40～44	442	17	425	298	123	4	4	2.8	97.2	67.5	28.6	1.1	1.7
45～49	498	10	488	366	114	8	10	3.4	96.6	76.7	17.3	2.6	0.7
50～54	554	5	549	384	160	5	25	1.1	98.9	67.9	30.0	1.0	3.4
55～59	584	4	580	419	160	1	31	0.8	99.2	75.2	23.3	0.6	4.0
60～64	665	3	662	467	188	7	50	0.2	99.8	63.9	34.6	1.3	10.4
65～69	862	14	848	574	263	11	78	2.5	97.5	67.1	29.3	1.0	9.4
70～74	1,074	52	1,022	681	327	14	139	5.2	94.8	62.4	31.6	0.9	14.0
75～79	999	67	932	572	340	20	127	8.4	91.6	59.0	30.7	2.0	11.3
80～84	678	66	612	359	238	15	98	4.9	95.1	57.3	36.2	1.5	14.9
85～	379	71	308	165	128	15	59	12.8	87.2	43.1	37.2	6.8	19.0

注：割合（%）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。



注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

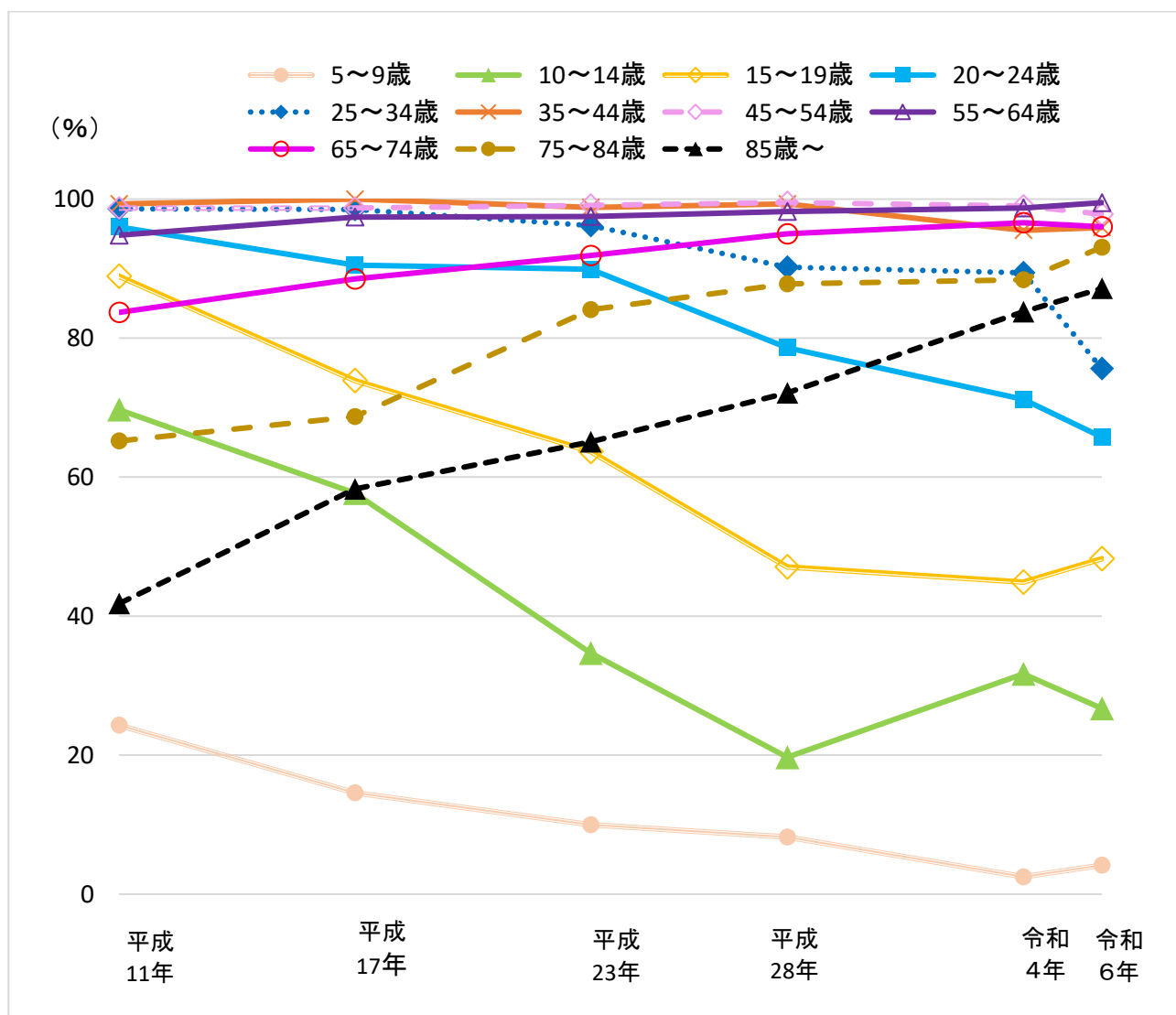
図 7. う蝕経験を有する者の割合（永久歯：5 歳以上）

表 8. う蝕経験を有する者の割合の年次推移（永久歯：5歳以上）

(%)

年齢階級 (歳)	平成 11 年 (1999 年)	平成 17 年 (2005 年)	平成 23 年 (2011 年)	平成 28 年 (2016 年)	令和 4 年 (2022 年)	令和 6 年 (2024 年)
5～9	24.3	14.6	10.0	8.2	2.5	4.2
10～14	69.7	57.7	34.7	19.7	31.7	26.7
15～19	88.9	73.9	63.7	47.1	44.9	48.3
20～24	96.0	90.5	89.9	78.6	71.2	65.8
25～34	98.6	98.5	96.2	90.2	89.4	75.6
35～44	99.3	100.0	98.8	99.3	95.5	95.9
45～54	98.7	98.7	99.1	99.5	99.0	97.8
55～64	94.8	97.4	97.5	98.2	98.7	99.5
65～74	83.7	88.5	91.9	95.0	96.6	96.0
75～84	65.2	68.7	84.1	87.8	88.4	93.1
85～	41.8	58.3	65.1	72.1	83.8	87.2

注：令和 6（2024）年の割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。



注：令和 6（2024）年の割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

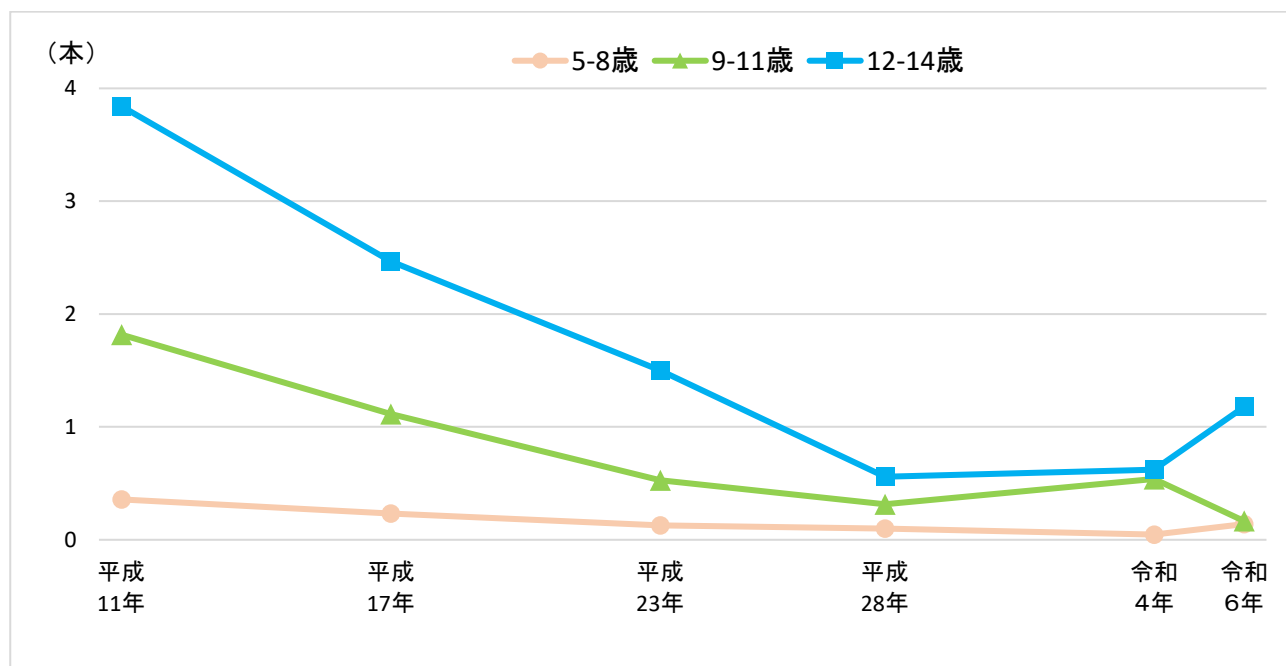
図 8. う蝕経験を有する者の割合の年次推移（永久歯：5歳以上）

表 9. 1 人平均 DMF 歯数 (DMFT 指数) の年次推移 (永久歯 : 5 ~ 14 歳)

(本)

年齢 (歳)	平成 11 年 (1999 年)	平成 17 年 (2005 年)	平成 23 年 (2011 年)	平成 28 年 (2016 年)	令和 4 年 (2022 年)	令和 6 年 (2024 年)
5	0.0	-	-	-	-	-
6	0.2	0.2	-	-	-	0.0
7	0.4	0.4	0.1	0.1	0.2	0.0
8	0.9	0.9	0.3	0.3	-	0.5
9	1.1	1.1	0.4	0.4	0.1	0.0
10	2.3	2.3	0.5	0.2	0.4	0.4
11	2.2	2.2	0.7	0.3	1.0	0.2
12	2.4	2.4	1.4	0.2	0.3	0.6
13	3.7	3.7	1.8	1.1	0.7	2.0
14	5.2	5.2	1.3	0.6	0.8	1.3

注 : 令和 6 (2024) 年の平均値は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值である。



注 : 令和 6 (2024) 年の平均値は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值である。

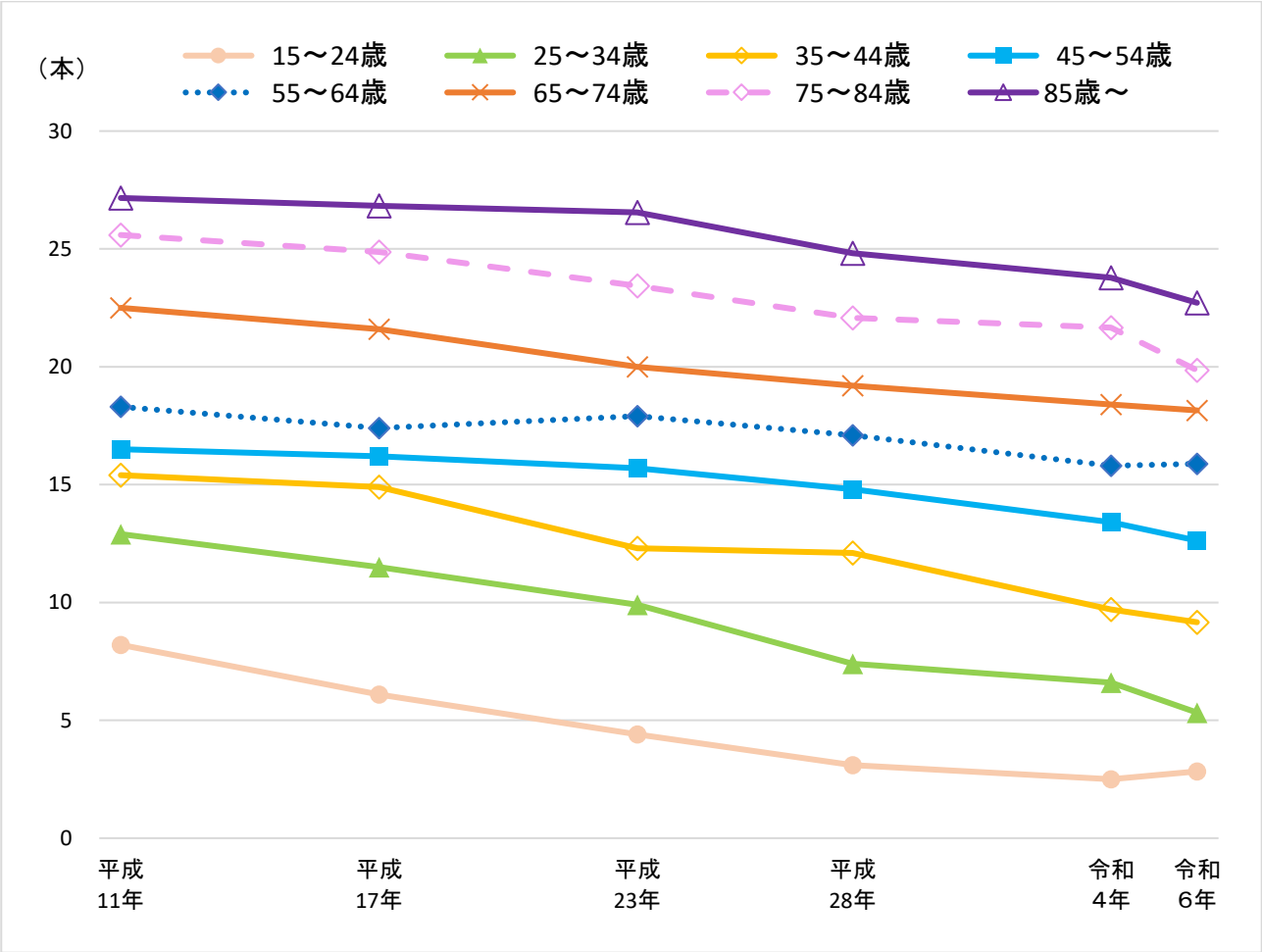
図 9. 1 人平均 DMF 歯数 (DMFT 指数) の年次推移 (永久歯 : 5 ~ 14 歳)

表 10. 1 人平均 DMF 歯数 (DMFT 指数) の推移 (永久歯 : 15 歳以上)

(本)

年齢階級 (歳)	平成 11 年 (1999 年)	平成 17 年 (2005 年)	平成 23 年 (2011 年)	平成 28 年 (2016 年)	令和 4 年 (2022 年)	令和 6 年 (2024 年)
15～24	8.2	6.1	4.4	3.1	2.5	2.8
25～34	12.9	11.5	9.9	7.4	6.6	5.3
35～44	15.4	14.9	12.3	12.1	9.7	9.2
45～54	16.5	16.2	15.7	14.8	13.4	12.6
55～64	18.3	17.4	17.9	17.1	15.8	15.9
65～74	22.5	21.6	20.0	19.2	18.4	18.1
75～84	25.6	24.9	23.4	22.1	21.7	19.9
85～	27.2	26.8	26.5	24.8	23.8	22.7

注：令和 6（2024）年の平均値は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值である。



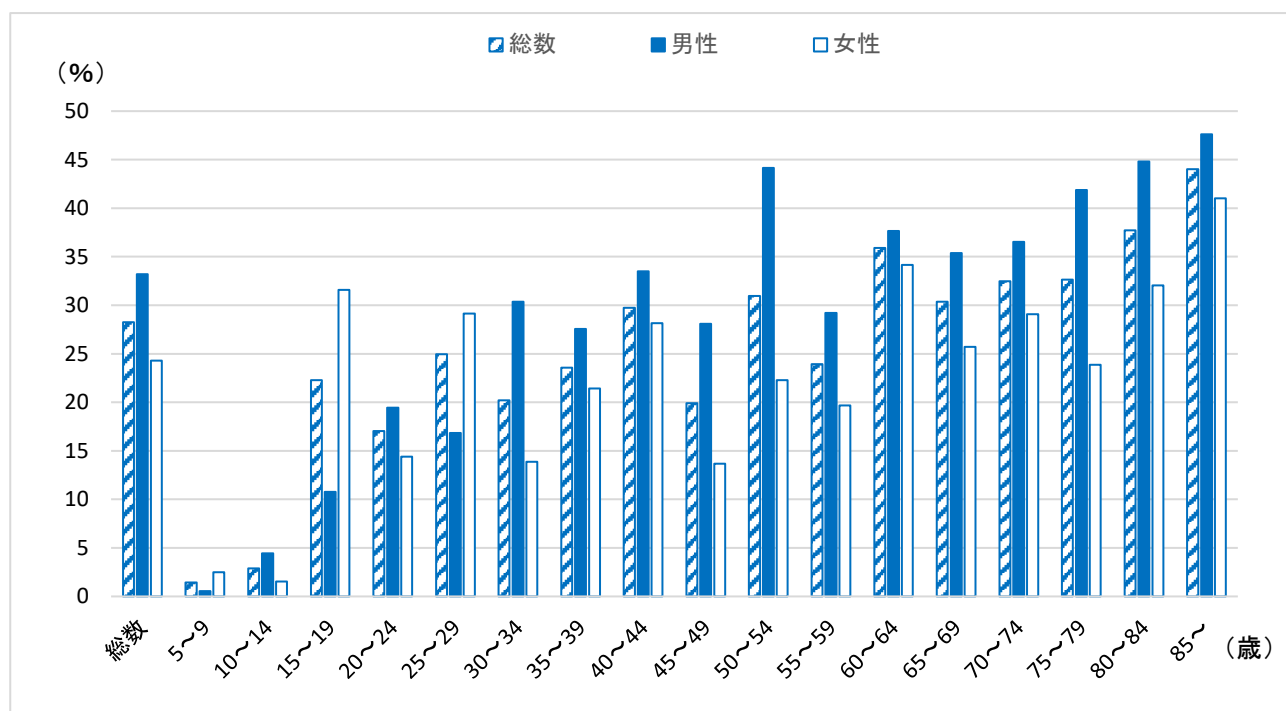
注：令和 6（2024）年の平均値は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值である。

図10. 1 人平均DMF歯数 (DMFT指数) の年次推移 (永久歯 : 15歳以上)

表 11. 未処置のう蝕を有する者の割合（永久歯：5歳以上）

年齢階級 （歳）	総数		男		女	
	被調査者数 （人）	未処置のう 蝕を有する 者の割合 （%）	被調査者数 （人）	未処置のう 蝕を有する 者の割合 （%）	被調査者数 （人）	未処置のう 蝕を有する 者の割合 （%）
総数	8,357	28.2	3,740	33.2	4,617	24.3
5～9	321	1.4	167	0.6	154	2.5
10～14	265	2.9	136	4.4	129	1.5
15～19	144	22.3	65	10.8	79	31.6
20～24	156	17.0	72	19.4	84	14.4
25～29	166	25.0	59	16.9	107	29.2
30～34	231	20.2	108	30.4	123	13.9
35～39	339	23.6	130	27.6	209	21.4
40～44	442	29.7	173	33.5	269	28.2
45～49	498	19.9	207	28.1	291	13.7
50～54	554	31.0	221	44.1	333	22.3
55～59	584	23.9	224	29.2	360	19.7
60～64	665	35.9	295	37.7	370	34.2
65～69	862	30.4	409	35.4	453	25.7
70～74	1,074	32.5	506	36.5	568	29.1
75～79	999	32.7	474	41.9	525	23.9
80～84	678	37.7	324	44.8	354	32.0
85～	379	44.0	170	47.6	209	41.0

注：割合（%）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。



注：割合（%）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 11. 未処置のう蝕を有する者の割合（永久歯：5歳以上）

〔2〕喪失歯の状況とその補綴状況

喪失歯を有する者の割合は、15 歳以上 30 歳未満までは 1 %に満たないが、年齢階級が上がるにつれて高くなり、75 歳以上 85 歳未満で約 90%、85 歳以上で 96%であった（表 12、図 12）。

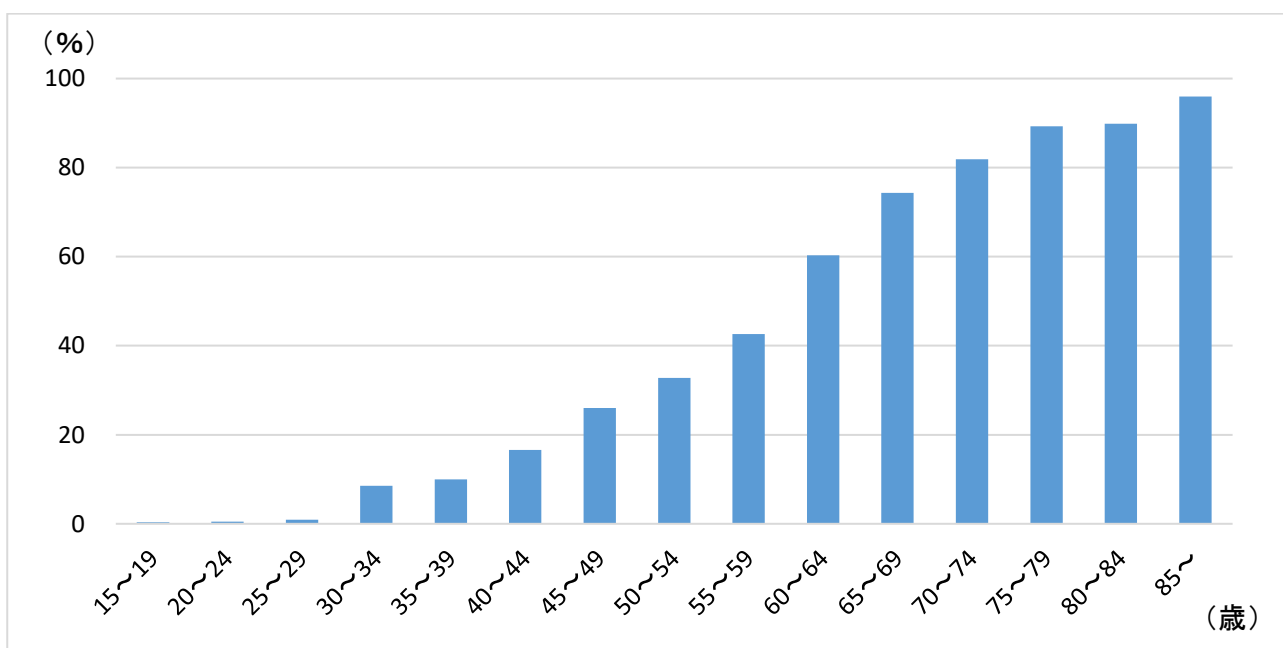
1 人平均喪失歯数は、70 歳以上では 6 本を上回り、特に 85 歳以上では約 14 本であった（表 13、図 13）。

補綴物の装着者は、65 歳以上で半数を上回った。内訳は、80 歳未満ではブリッジが最も高く、部分床義歯装着者は、全部床義歯装着者と比較して、いずれの年齢階級でも高かった。インプラント装着者の割合は、75 歳以上 80 歳未満が 7.6%で最も高かった（表 14、図 14）。

表 12. 喪失歯を有する者の割合（永久歯：15 歳以上）

年齢階級 （歳）	喪失歯を有する者	
	被調査者（人）	割合（%）
総数	8,357	51.2
15～19	144	0.4
20～24	156	0.5
25～29	166	0.9
30～34	231	8.6
35～39	339	9.9
40～44	442	16.6
45～49	498	26.0
50～54	554	32.8
55～59	584	42.6
60～64	665	60.3
65～69	862	74.4
70～74	1,074	81.9
75～79	999	89.3
80～84	678	89.9
85～	379	96.0

注：割合（%）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。



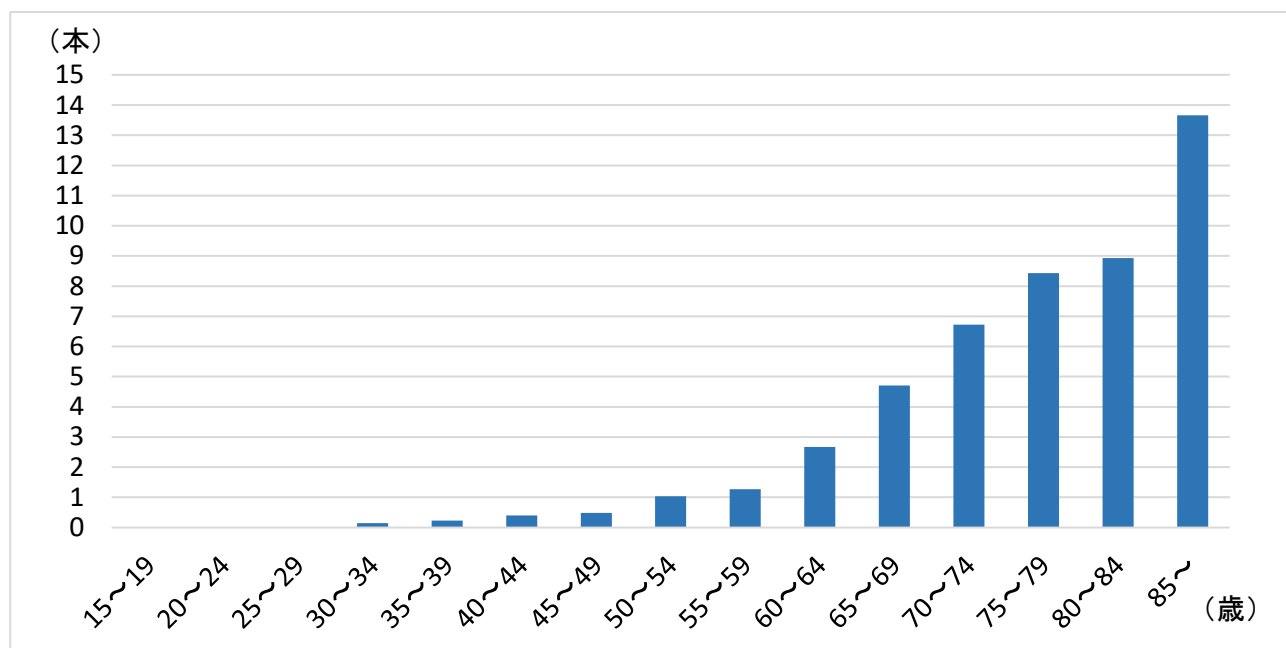
注：割合（%）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 12. 喪失歯を有する者の割合（永久歯：15 歳以上）

表 13. 1 人平均喪失歯数（永久歯：15 歳以上）

年齢階級 （歳）	被調査者数 （人）	1 人平均喪失歯数 （本）
15～19	144	0.0
20～24	156	0.0
25～29	166	0.0
30～34	231	0.1
35～39	339	0.2
40～44	442	0.4
45～49	498	0.5
50～54	554	1.0
55～59	584	1.3
60～64	665	2.7
65～69	862	4.7
70～74	1,074	6.7
75～79	999	8.4
80～84	678	8.9
85～	379	13.7

注：1 人平均喪失歯数は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值である。



注：1 人平均喪失歯数は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值である。

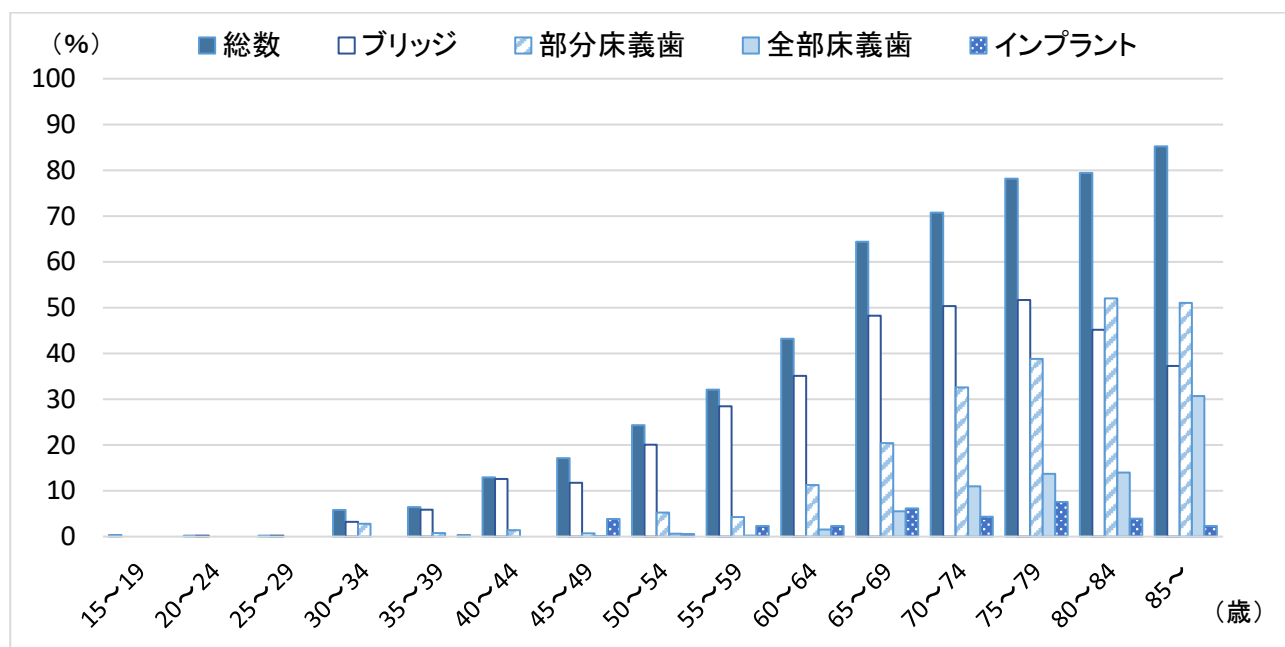
図 13. 1 人平均喪失歯数（永久歯：15 歳以上）

表 14. 補綴物の装着の有無と各補綴物の装着者の割合（永久歯：15 歳以上）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	補綴物を装着している者の割合（％）				
		総数 ²⁾	ブリッジ 装着者	部分床義歯 装着者	全部床義歯 装着者	インプラント 装着者
総数	7,771	45.7	31.2	19.7	6.5	3.2
15～19	144	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24	156	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0
25～29	166	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0
30～34	231	5.8	3.2	2.8	0.0	0.0
35～39	339	6.4	5.9	0.8	0.0	0.4
40～44	442	13.0	12.6	1.4	0.0	0.0
45～49	498	17.1	11.8	0.7	0.1	3.9
50～54	554	24.3	20.1	5.2	0.7	0.6
55～59	584	32.1	28.5	4.3	0.2	2.3
60～64	665	43.2	35.1	11.2	1.6	2.3
65～69	862	64.4	48.2	20.4	5.5	6.2
70～74	1,074	70.8	50.3	32.6	11.0	4.3
75～79	999	78.2	51.7	38.8	13.7	7.6
80～84	678	79.4	45.2	52.0	14.0	3.9
85～	379	85.2	37.2	51.1	30.7	2.3

注：1）割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

2）いずれか１つでも装着している者。



注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 14. 補綴物の装着の有無と各補綴物の装着者の割合（永久歯：15 歳以上）

〔3〕 現在歯の状況（8020 達成者等）

1 人平均現在歯数は、75 歳以上の年齢階級では 20 本より少なかった（表 15、図 15）。

20 本以上の歯を有する者の割合は、65 歳以上の年齢階級では 90%より低かった（表 16、図 16）。

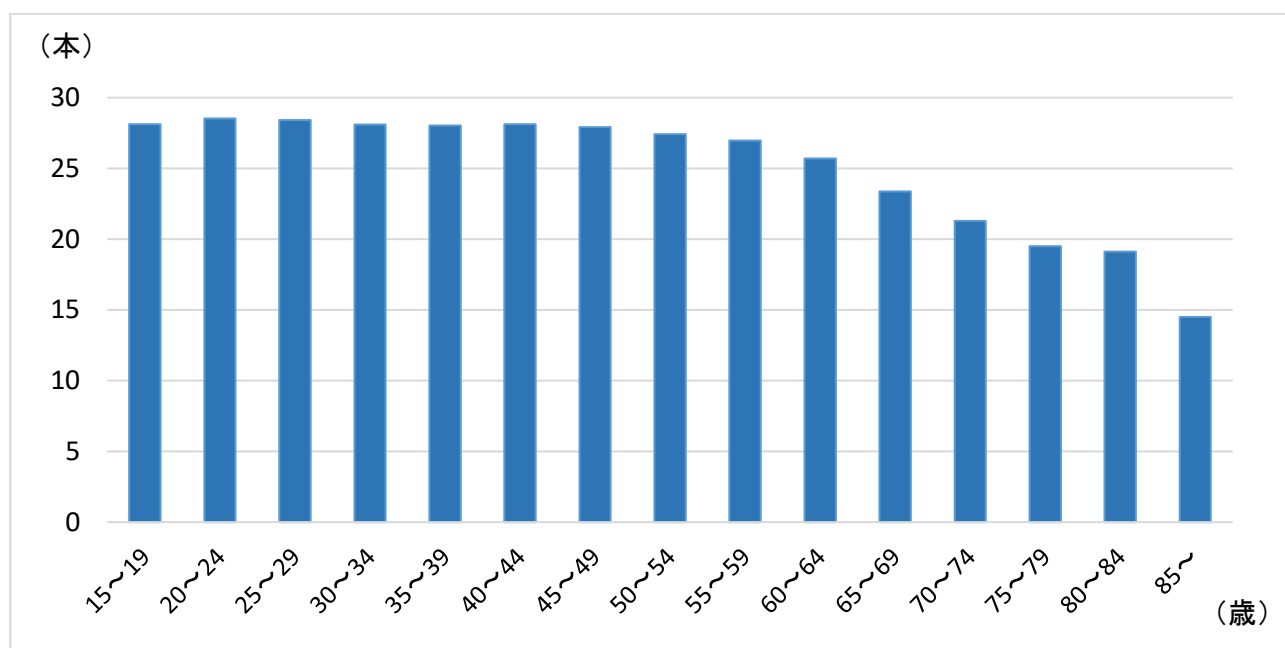
20 本以上の自分の歯を有する者の割合の年次推移は、概ね増加傾向であった（表 17、図 17）。

8020 達成者の割合（80 歳で 20 本以上の歯を有する者の割合）は、75 歳以上 85 歳未満の 20 本以上の歯を有する者の割合から約 61.5%と推計され、前回調査時（51.6%）より高かった。

表 15. 1 人平均現在歯数（永久歯：15 歳以上）

年齢階級 （歳）	被調査者数 （人）	1 人平均現在歯数 （本）
15～19	144	28.1
20～24	156	28.5
25～29	166	28.4
30～34	231	28.1
35～39	339	28.0
40～44	442	28.1
45～49	498	27.9
50～54	554	27.4
55～59	584	27.0
60～64	665	25.7
65～69	862	23.4
70～74	1,074	21.3
75～79	999	19.5
80～84	678	19.1
85～	379	14.5

注：1 人平均現在歯数は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值である。



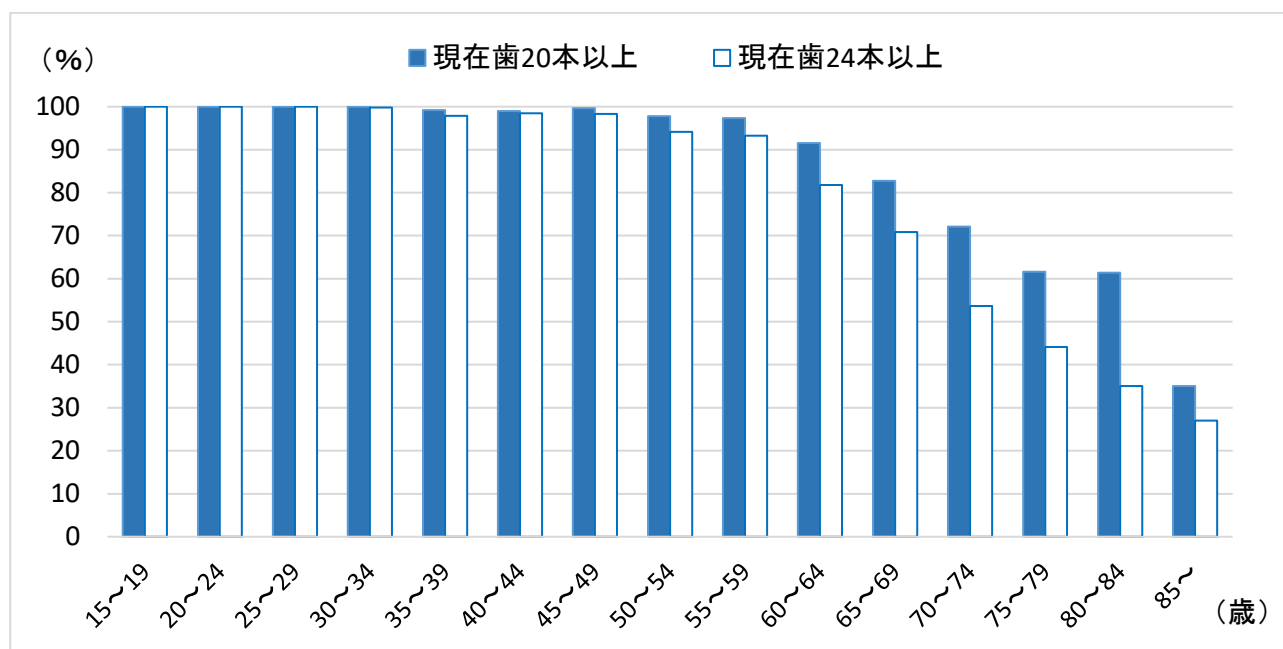
注：1 人平均現在歯数は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值である。

図 15. 1 人平均現在歯数（永久歯：15 歳以上）

表 16. 現在歯 20 本以上、および 24 本以上の歯を有する者の割合（永久歯：15 歳以上）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	現在歯 20 本以上の 者の割合 (%)	現在歯 24 本以上の 者の割合 (%)
15～19	144	100.0	100.0
20～24	156	100.0	100.0
25～29	166	100.0	100.0
30～34	231	100.0	99.8
35～39	339	99.2	97.9
40～44	442	99.0	98.4
45～49	498	99.7	98.3
50～54	554	97.8	94.1
55～59	584	97.3	93.2
60～64	665	91.5	81.8
65～69	862	82.8	70.8
70～74	1,074	72.1	53.6
75～79	999	61.6	44.2
80～84	678	61.4	35.1
85～	379	35.0	27.0

注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。



注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 16. 現在歯 20 本以上、および 24 本以上の歯を有する者の割合（永久歯：15 歳以上）

表 17. 20 本以上の歯を有する者の割合の年次推移（永久歯：45 歳以上）

（％）

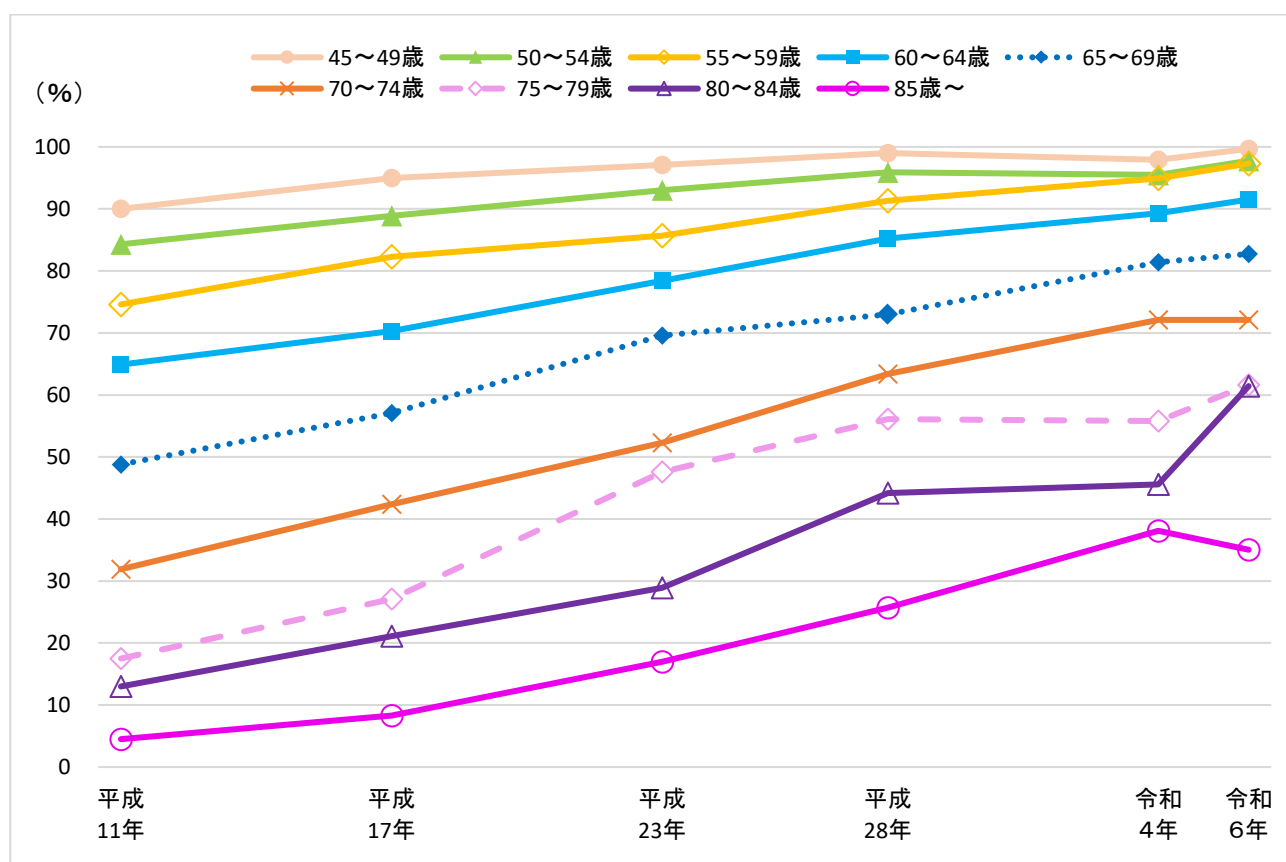
年齢階級 (歳)	平成 11 年 (1999 年)	平成 17 年 (2005 年)	平成 23 年 (2011 年)	平成 28 年 (2016 年)	令和 4 年 (2022 年)	令和 6 年 (2024 年)
45～49	90.0	95.0	97.1	99.0	97.9	99.7
50～54	84.3	88.9	93.0	95.9	95.5	97.8
55～59	74.6	82.3	85.7	91.3	94.9	97.3
60～64	64.9	70.3	78.4	85.2	89.3	91.5
65～69	48.8	57.1	69.6	73.0	81.4	82.7
70～74	31.9	42.4	52.3	63.4	72.1	72.1
75～79	17.5	27.1	47.6	56.1	55.8	61.6
80～84	13.0	21.1	28.9	44.2	45.6	61.4
85～	4.5	8.3	17.0	25.7	38.1	35.0

（参考）

80 歳 ²⁾	15.3	24.1	38.3	51.2	51.6	61.5
--------------------	------	------	------	------	------	------

注：1）令和 6（2024）年の割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

2）80 歳で 20 本以上の歯を有する者の割合は、75 歳以上 85 歳未満の 20 本以上の歯を有する者の割合から推計。



注：令和 6（2024）年の割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 17. 20 本以上の歯を有する者の割合の年次推移（永久歯：45 歳以上）

2. 歯肉の状況

歯肉出血を有する者の割合は 10～14 歳が 23.9%で最も低く、80～84 歳が 50.3%で最も高かった（表 18、図 18）。

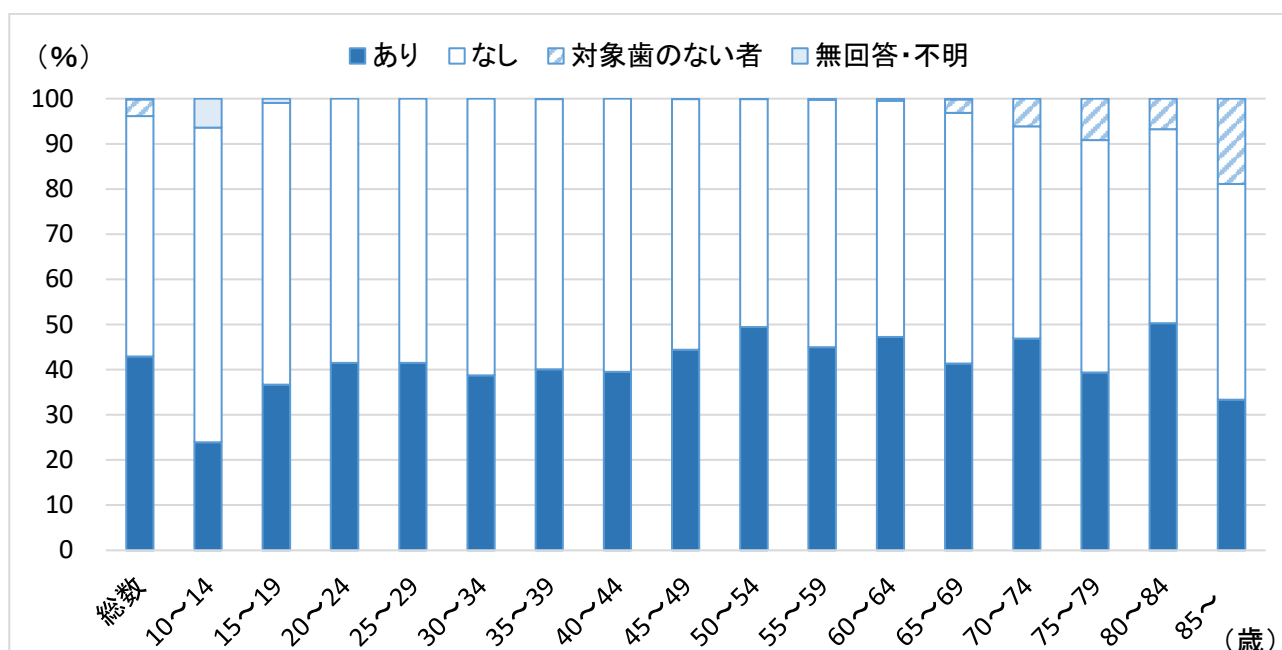
4mm 以上の歯周ポケットを持つ者の割合は、15～19 歳が 21.2%で最も低く、80～84 歳が 61.6%で最も高かった（表 19、図 19）。また、年次推移において 65 歳以上で概ね増加していた（表 20、図 20）。

表 18. 歯肉出血を有する者の割合、年齢階級別（10 歳以上、性別）

(%)

年齢階級 (歳)	総数				男性				女性			
	あり	なし	対象歯のない者	無回答・不明	あり	なし	対象歯のない者	無回答・不明	あり	なし	対象歯のない者	無回答・不明
総数	42.9	53.3	3.7	0.2	45.6	50.0	4.2	0.1	40.8	55.8	3.2	0.2
10～14	23.9	69.7	—	6.4	22.6	72.4	—	5.0	25.1	67.3	—	7.6
15～19	36.7	62.3	—	1.0	43.0	57.0	—	—	31.6	66.6	—	1.7
20～24	41.5	58.5	—	—	51.3	48.7	—	—	30.9	69.1	—	—
25～29	41.5	58.5	—	—	32.0	68.0	—	—	46.4	53.6	—	—
30～34	38.7	61.3	—	—	42.3	57.7	—	—	36.5	63.5	—	—
35～39	40.1	59.8	—	0.1	29.0	71.0	—	—	45.9	53.9	—	0.1
40～44	39.5	60.5	—	—	55.3	44.7	—	—	32.8	67.2	—	—
45～49	44.4	55.5	0.1	—	48.8	51.2	—	—	41.1	58.7	0.2	—
50～54	49.5	50.4	0.1	—	54.2	45.6	0.2	—	46.3	53.7	—	—
55～59	44.9	54.8	0.2	—	50.3	49.5	0.2	—	40.6	59.1	0.3	—
60～64	47.2	52.3	0.5	—	53.3	46.2	0.5	—	41.2	58.4	0.4	—
65～69	41.4	55.5	3.0	0.2	44.1	51.5	4.3	—	38.8	59.1	1.7	0.4
70～74	46.9	47.0	6.1	—	47.9	43.6	8.5	—	46.0	49.9	4.1	—
75～79	39.4	51.4	9.2	—	39.2	51.8	9.0	—	39.6	51.1	9.3	—
80～84	50.3	42.9	6.8	—	57.0	35.4	7.6	—	44.9	48.9	6.1	—
85～	33.4	47.7	18.9	—	30.7	53.0	16.3	—	35.7	43.3	21.0	—

注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。



注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

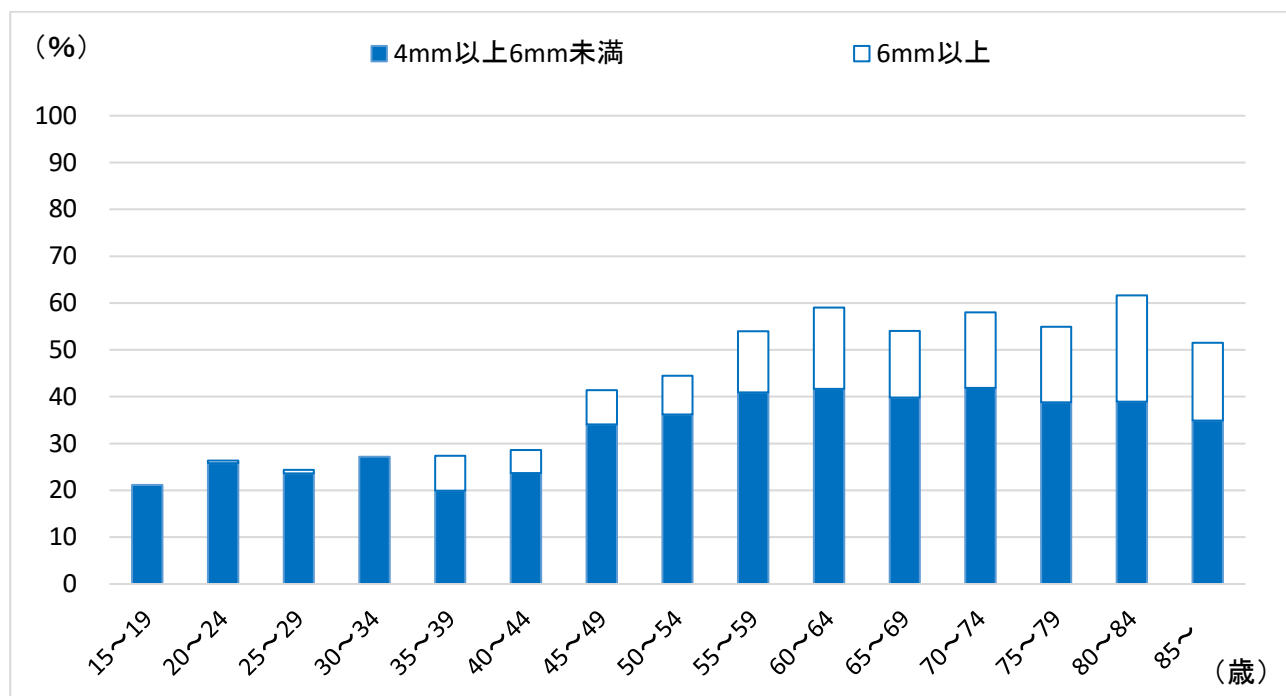
図 18. 歯肉出血を有する者の割合、年齢階級別（10 歳以上）

表 19. 歯周ポケットを有する者の割合、年齢階級別（15 歳以上、性別）

(%)

年齢階級 (歳)	総数					男性					女性				
	歯周ポケット (ポケット深さ 4 mm 以上) のある者			対象歯の ない者	無回答・ 不明	歯周ポケット (ポケット深さ 4 mm 以上) のある者			対象歯の ない者	無回答・ 不明	歯周ポケット (ポケット深さ 4 mm 以上) のある者			対象歯の ない者	無回答・ 不明
	総数	4 mm 以上 6 mm 未満	6 mm 以上			総数	4 mm 以上 6 mm 未満	6 mm 以上			総数	4 mm 以上 6 mm 未満	6 mm 以上		
総数	47.8	35.5	12.3	3.8	0.0	52.9	37.5	15.4	4.3	-	43.7	33.9	9.8	3.3	0.0
15～19	21.2	21.2	-	-	1.0	5.6	5.6	-	-	-	33.7	33.7	-	-	1.7
20～24	26.4	25.8	0.6	-	-	35.0	34.4	0.6	-	-	17.1	16.6	0.6	-	-
25～29	24.4	23.6	0.8	-	-	18.4	17.2	1.2	-	-	27.5	27.0	0.5	-	-
30～34	27.2	27.2	-	-	-	29.5	29.5	-	-	-	25.7	25.7	-	-	-
35～39	27.4	19.9	7.5	-	0.1	42.9	29.6	13.3	-	-	19.2	14.7	4.4	-	0.1
40～44	28.6	23.7	4.9	-	-	45.9	34.3	11.6	-	-	21.3	19.2	2.1	-	-
45～49	41.4	34.1	7.3	0.1	-	47.1	35.7	11.4	-	-	37.0	32.8	4.2	0.2	-
50～54	44.4	36.2	8.3	0.1	-	52.7	37.3	15.4	0.2	-	39.0	35.4	3.5	-	-
55～59	54.0	40.9	13.1	0.2	-	66.1	53.6	12.4	0.2	-	44.3	30.6	13.6	0.3	-
60～64	59.1	41.7	17.4	0.5	-	60.2	40.2	20.1	0.5	-	57.9	43.1	14.7	0.4	-
65～69	54.0	39.8	14.2	3.0	-	56.1	38.7	17.4	4.3	-	52.1	40.9	11.2	1.7	-
70～74	58.0	41.8	16.2	6.1	-	57.7	36.9	20.8	8.5	-	58.3	46.0	12.3	4.1	-
75～79	54.9	38.8	16.2	9.2	-	54.9	40.0	14.9	9.0	-	55.0	37.6	17.4	9.3	-
80～84	61.6	39.0	22.7	6.8	-	66.4	41.8	24.6	7.6	-	57.8	36.7	21.1	6.1	-
85～	51.5	34.9	16.6	18.9	-	55.6	33.3	22.2	16.3	-	48.1	36.2	11.9	21.0	-

注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。



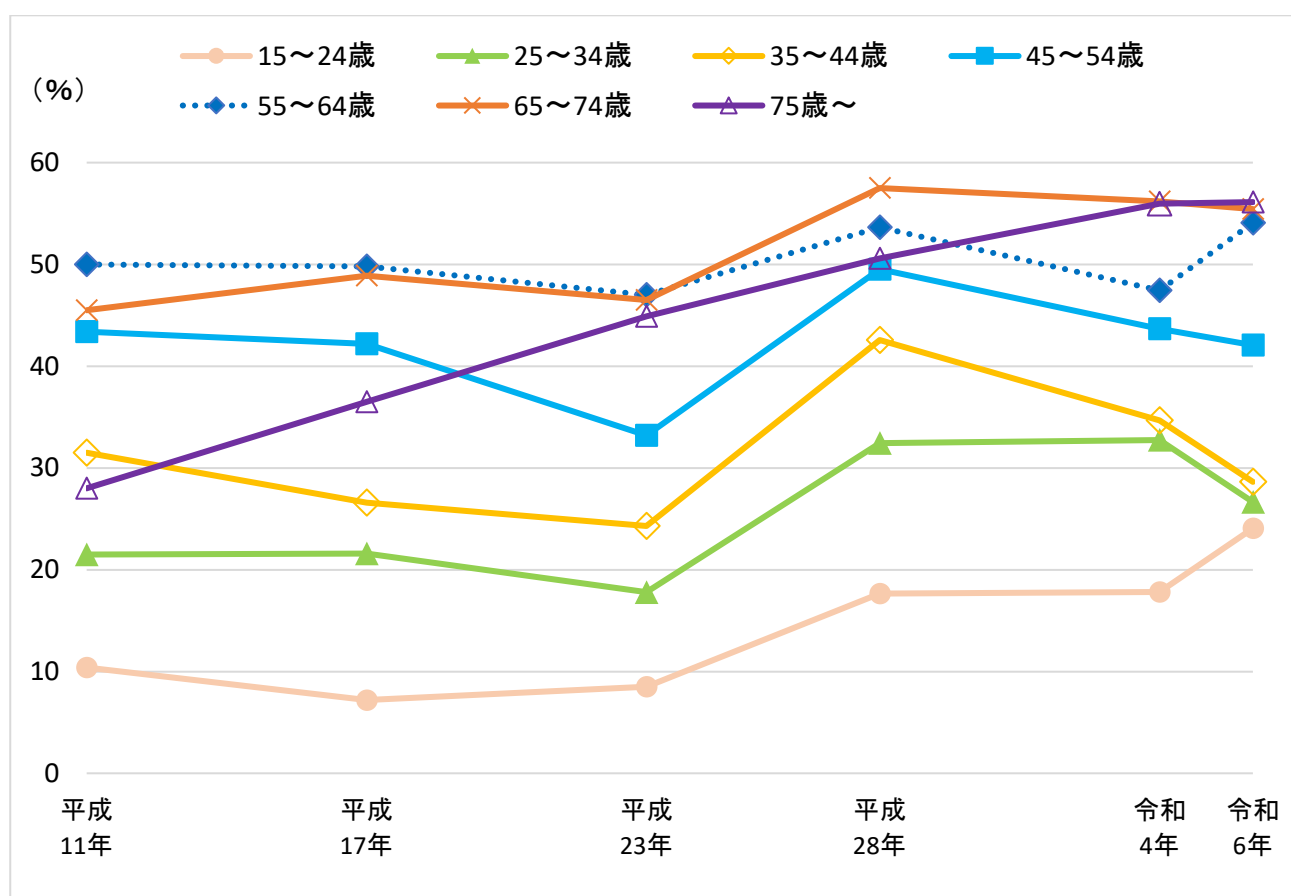
注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 19. 歯周ポケット（4 mm 以上）を有する者の割合、年齢階級別（15 歳以上）

表 20. 歯周ポケット（4mm 以上）を有する者の割合の年次推移、年齢階級別（15 歳以上）
(%)

年齢階級 (歳)	平成 11 年 (1999 年)	平成 17 年 (2005 年)	平成 23 年 (2011 年)	平成 28 年 (2016 年)	令和 4 年 (2022 年)	令和 6 年 (2024 年)
15～24	10.4	7.2	8.5	17.6	17.8	24.7
25～34	21.5	21.6	17.8	32.4	32.7	25.8
35～44	31.5	26.6	24.3	42.6	34.7	28.0
45～54	43.4	42.2	33.2	49.5	43.7	43.0
55～64	50.0	49.8	47.0	53.7	47.5	56.6
65～74	45.5	48.9	46.5	57.5	56.2	56.2
75～	28.0	36.5	44.9	50.6	56.0	56.5

注：1) 令和 6（2024）年の割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。
2) 平成 11 年と平成 17 年以降では、1 歯あたりの診査部位が異なる。
3) 被調査者のうち対象歯を持たない者を含めた割合で算出。



注：令和 6（2024）年の割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 20. 歯周ポケット（4mm 以上）を有する者の割合の年次推移、年齢階級別（15 歳以上）

3. フッ化物応用の経験の有無

フッ化物応用の経験がある者の割合は 70.2%であった（表 21、図 21）。

14 歳以下の各年齢においては、フッ化物塗布またはフッ化物洗口のいずれかのフッ化物応用の経験がある者は被調査者数の 72.5%であり、6 歳が 86.3%で最も高かった。フッ化物塗布の経験のある者の割合は被調査者数の 67.3%、フッ化物洗口の経験のある者の割合は被調査者数の 18.5%、フッ化物配合歯磨剤の使用経験のある者の割合は被調査者数の 74.4%であった（表 22、図 22）。

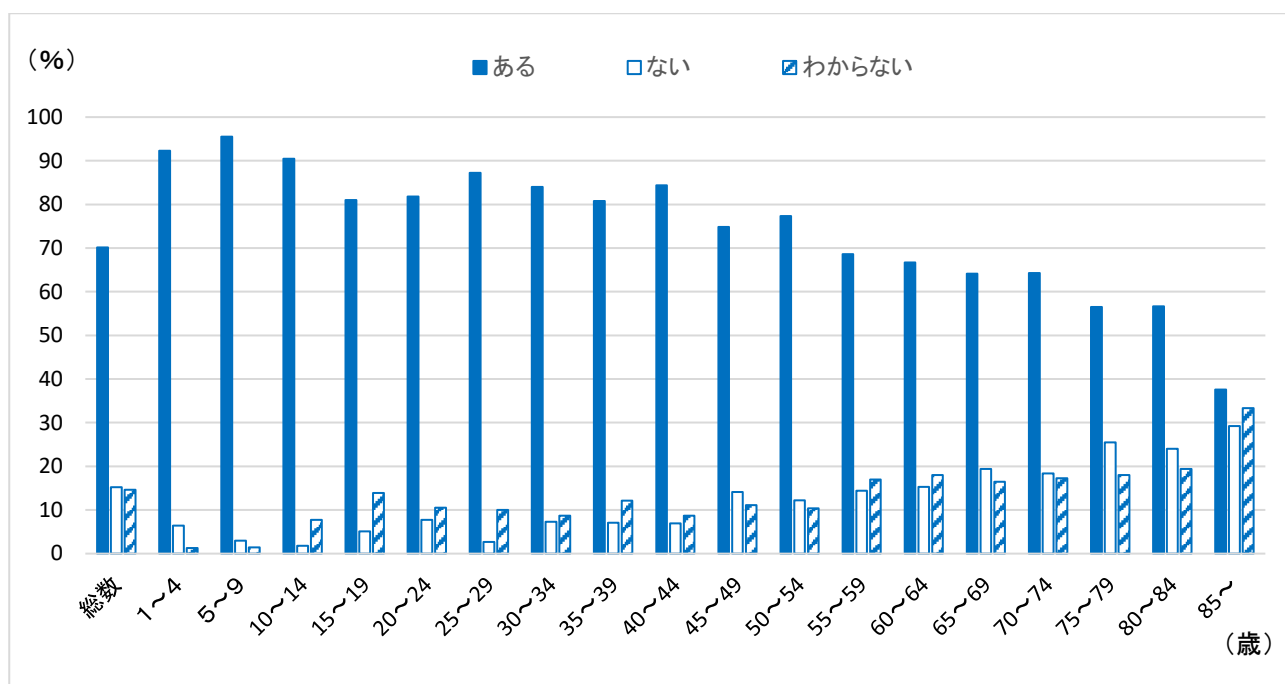
表 21. フッ化物応用の経験の有無（1 歳以上）

年齢 階級 (歳)	人数 (人)							割合 (%)					
	被調査 者数	総数	ある			ない	わから ない	総数	ある			ない	わから ない
			フッ化 物塗布	フッ化 物洗口	フッ化 物配合 歯磨剤 の使用				フッ化 物塗布	フッ化 物洗口	フッ化 物配合 歯磨剤 の使用		
総数	8,505	5,936	2,088	488	5,248	1,483	1,086	70.2	25.7	4.7	61.9	15.2	14.6
1～4	199	169	122	10	132	24	6	92.3	67.0	5.6	69.9	6.4	1.3
5～9	320	302	213	96	252	12	6	95.5	73.2	22.2	78.7	3.0	1.4
10～14	265	237	148	89	192	8	20	90.5	58.0	28.8	73.1	1.8	7.7
15～19	144	121	74	27	96	13	10	81.0	49.0	14.7	69.9	5.1	13.9
20～24	155	125	74	22	103	13	17	81.8	39.5	9.9	65.2	7.7	10.5
25～29	166	140	64	12	122	9	17	87.3	47.0	3.1	70.8	2.7	10.0
30～34	231	189	64	10	175	18	24	84.0	27.9	3.8	80.1	7.3	8.7
35～39	338	285	85	14	269	25	28	80.8	27.6	3.9	74.8	7.1	12.1
40～44	441	363	116	30	326	46	32	84.4	28.7	6.6	75.4	6.9	8.7
45～49	497	401	145	21	366	58	38	74.8	30.2	4.3	67.8	14.1	11.1
50～54	552	422	143	23	380	77	53	77.3	25.0	3.1	68.0	12.2	10.4
55～59	579	419	140	23	375	89	71	68.6	24.6	3.6	61.5	14.4	17.0
60～64	662	443	125	32	404	126	93	66.7	15.6	3.5	62.0	15.3	18.0
65～69	857	562	155	26	502	181	114	64.1	17.6	2.4	57.7	19.4	16.5
70～74	1,063	687	181	23	604	229	147	64.3	16.8	2.5	57.4	18.4	17.3
75～79	991	555	136	15	491	258	178	56.5	14.7	2.3	51.1	25.5	18.0
80～84	674	360	85	13	314	179	135	56.6	13.7	0.8	48.3	24.0	19.4
85～	371	156	18	2	145	118	97	37.6	1.9	1.2	35.5	29.2	33.3

注：1) 割合 (%) は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

2) 複数回答可。

3) 質問に無回答、無効回答であった55人を除く。



注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

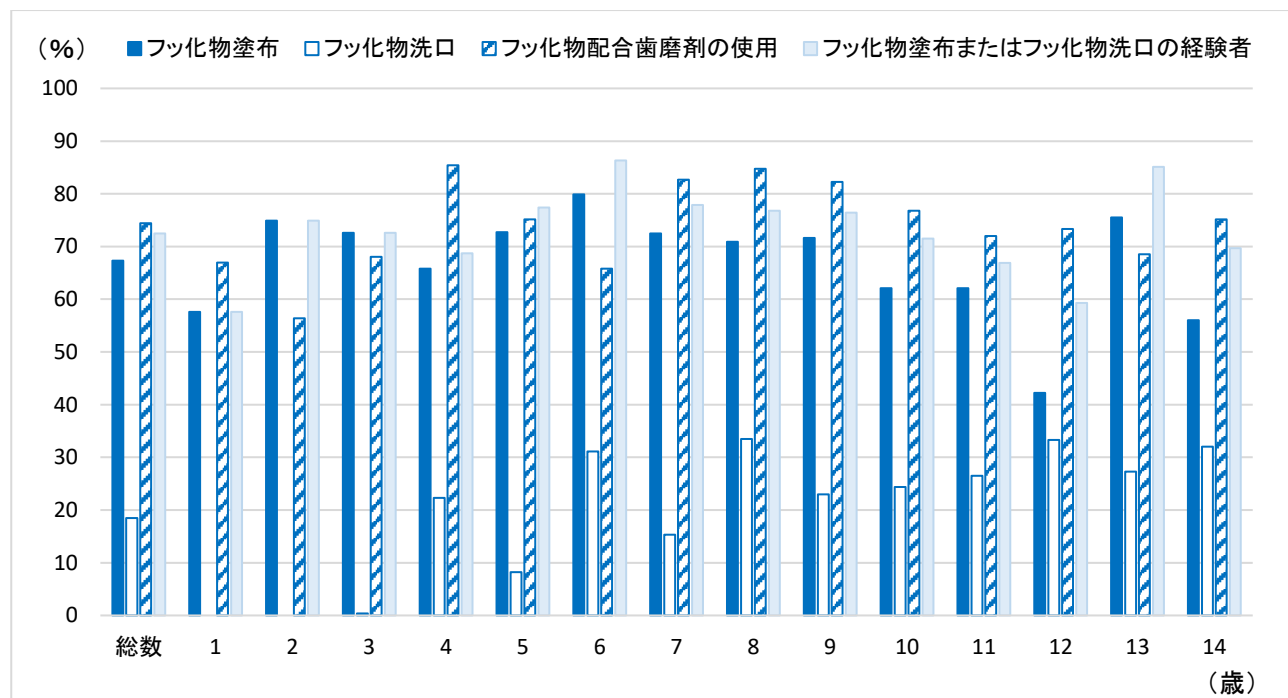
図 21. フッ化物応用の経験の有無の割合、年齢階級別（1歳以上）

表 22. フッ化物塗布・フッ化物洗口・フッ化物配合歯磨剤の使用の経験、割合、年齢別（１～１４歳）

年齢 (歳)	被調査者数 (人)	人数（人）				割合（％）			
		ある			フッ化物塗 布または フッ化物洗 口の経験者	ある			フッ化物塗 布または フッ化物洗 口の経験者
		フッ化物塗 布	フッ化物洗 口	フッ化物配 合歯磨剤の 使用		フッ化物塗 布	フッ化物洗 口	フッ化物配 合歯磨剤の 使用	
総数	784	483	195	576	560	67.3	18.5	74.4	72.5
1	52	23	－	24	23	57.6	－	67.0	57.6
2	40	26	－	26	26	74.9	－	56.4	74.9
3	60	44	1	44	44	72.6	0.4	68.1	72.6
4	47	29	9	38	32	65.8	22.3	85.4	68.7
5	62	43	10	48	49	72.7	8.2	75.1	77.4
6	53	33	13	39	39	79.9	31.1	65.8	86.3
7	70	46	20	53	53	72.5	15.3	82.7	77.9
8	77	51	33	67	61	70.9	33.5	84.7	76.8
9	58	40	20	45	48	71.6	23.0	82.2	76.4
10	47	27	15	37	32	62.1	24.4	76.8	71.5
11	65	41	21	47	47	62.1	26.5	72.0	66.9
12	66	34	23	44	43	42.2	33.3	73.3	59.3
13	39	22	12	27	29	75.5	27.3	68.5	85.1
14	48	24	18	37	34	56.0	32.0	75.2	69.7

注：１）割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

２）複数回答可。



注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 22. フッ化物塗布・フッ化物洗口・フッ化物配合歯磨剤の使用の経験、割合、年齢別（１～１４歳）

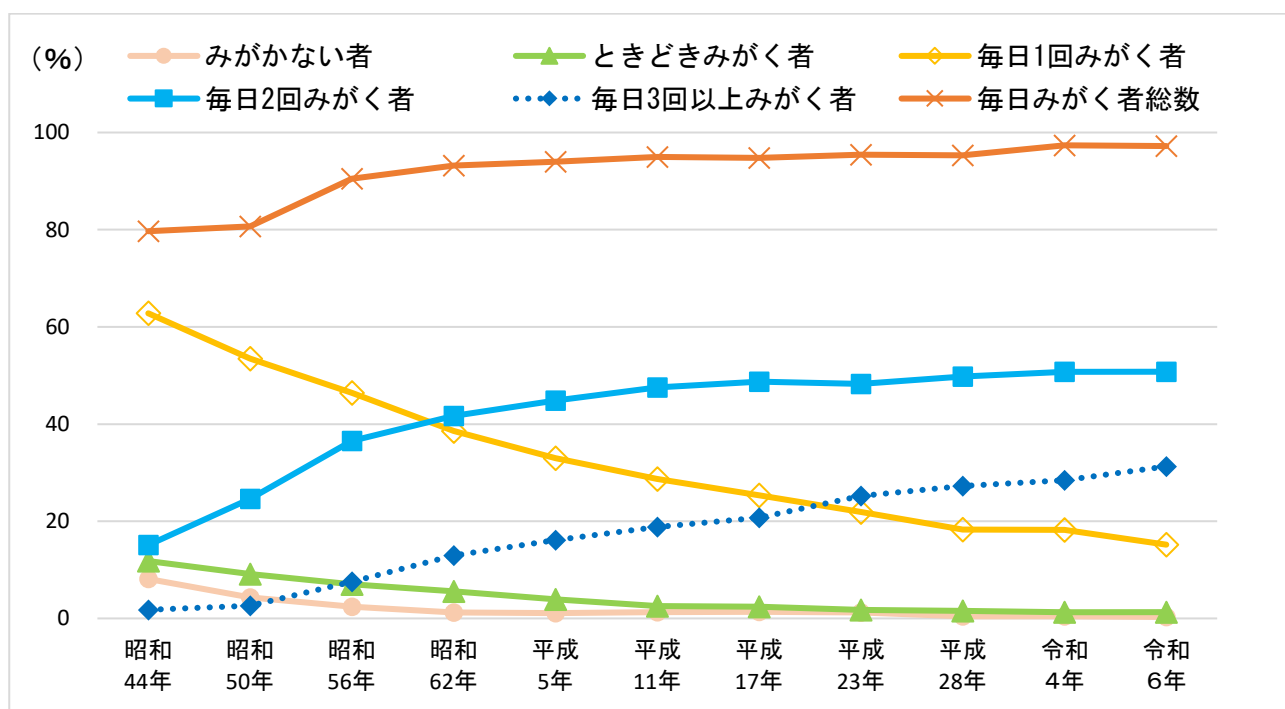
4. 歯をみがく頻度

1歳以上の者では、「毎日歯をみがく者」の割合は97.2%であった。「毎日2回以上歯をみがく者」の割合は増加傾向にあり、令和6年では82.0%であった（表23、図23）。

表23. 歯ブラシの使用状況の推移（昭和44（1969）年～令和6（2024）年）、総数（1歳以上）（%）

調査年	みがかない者	ときどきみがく者	毎日みがく者				不詳
			総数	1回	2回	3回以上	
昭和44年 1969年	8.1	11.8	79.7	62.8	15.1	1.8	0.4
昭和50年 1975年	4.3	9.2	80.7	53.4	24.6	2.6	5.8
昭和56年 1981年	2.4	7.1	90.5	46.4	36.6	7.5	-
昭和62年 1987年	1.3	5.5	93.2	38.6	41.7	13.0	-
平成5年 1993年	1.1	3.9	94.0	33.0	44.9	16.1	1.0
平成11年 1999年	1.3	2.5	95.0	28.7	47.5	18.8	1.2
平成17年 2005年	1.3	2.4	94.8	25.4	48.7	20.8	1.4
平成23年 2011年	1.2	1.8	95.5	21.9	48.3	25.2	1.6
平成28年 2016年	0.4	1.5	95.3	18.3	49.8	27.3	2.7
令和4年 2022年	0.5	1.3	97.4	18.2	50.8	28.4	0.9
令和6年 2024年	0.3	1.3	97.2	15.2	50.7	31.3	1.2

注：令和6（2024）年の割合（%）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。



注：令和6（2024）年の割合（%）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図23. 歯ブラシの使用状況の推移（昭和44（1969）年～令和6（2024）年）、総数（1歳以上）

5. 歯や口の状態

歯や口の状態について、「気になるところがある」と回答した者の割合は、被調査者数の 42.2% であり、10 歳～14 歳が 18.5% で最も低く、50 歳～54 歳が 54.4% で最も高かった（表 24）。

歯の症状について、「歯が痛い」と回答した者の割合は 60～64 歳が 4.6% で最も高く、「冷たいものや熱いものがしみる」と回答した者の割合は、35～39 歳が 17.8% で最も高かった（表 24、図 24-1）。

歯ぐきの症状について「歯ぐきが痛い」と回答した者の割合は、85 歳以上が 5.1% で最も高く、「歯ぐきが腫れている」と回答した者の割合は 55～59 歳が 7.6%、「歯をみがくと血が出る」と回答した者の割合は 60～64 歳が 12.8% で最も高かった（表 24、図 24-2）。

口の機能について「噛めないものがある」、「飲み込みにくい」、「口がかわく」と回答した者の割合は年齢階級が上がるにつれて概ね増加し、85 歳以上がそれぞれ 22.1%、3.4%、9.3% で最も高かった（表 24、図 24-3）。

その他の項目について「口臭がある」と回答した者の割合は 50～54 歳が 9.5% で最も高く、「ものがよくはさまる」と回答した者の割合は 55～59 歳が 29.3% で最も高かった（表 24、図 24-4）。

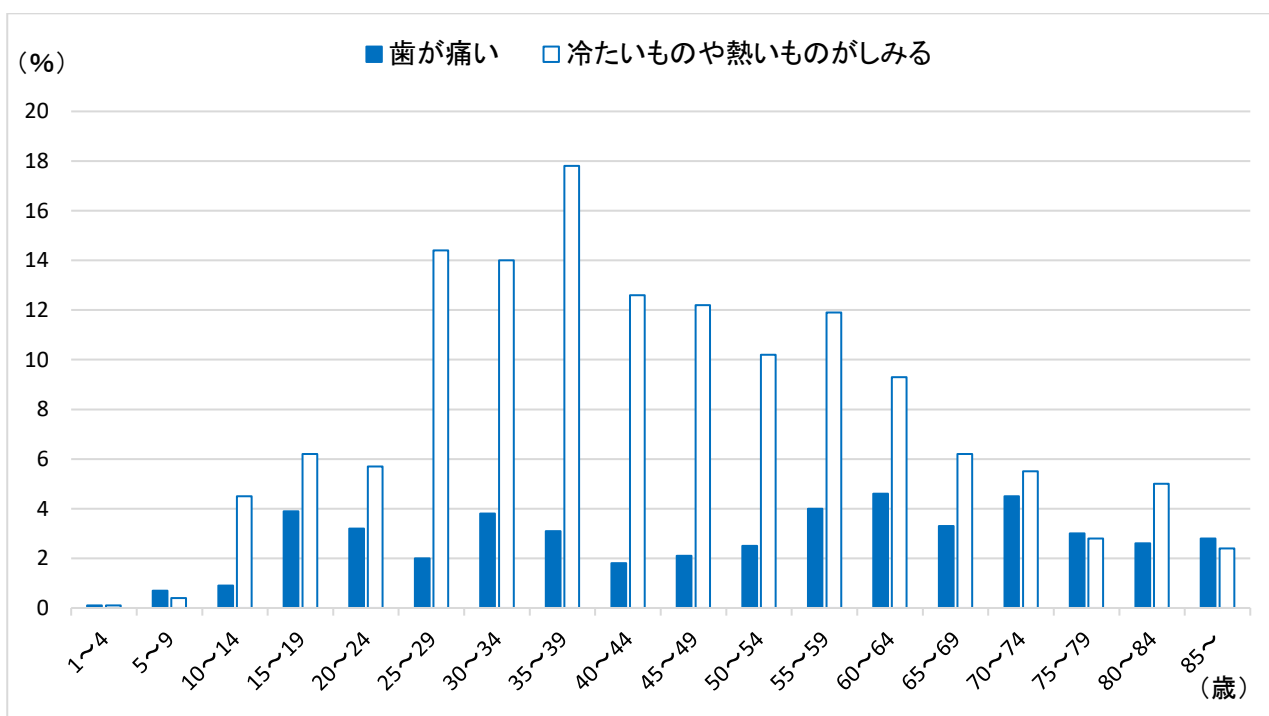
表 24. 歯や口の状態、年齢階級別（1 歳以上）

年齢階級 (歳)	被調査 者数 (人)	歯や口の状態について気になること (%)											
		ない	総数 ³⁾	ある									
				歯の症状		歯ぐきの症状			口の機能			その他	
				歯が 痛い	冷たい ものや 熱いも のがし みる	歯ぐき が痛い	歯ぐき が腫れ ている	歯をみ がくと 血が出 る	噛めな いもの がある	飲み込 みにく い	口がか わく	口臭が ある	ものが よく挟 まる
総数	14,641	57.8	42.2	3.0	7.8	2.1	3.3	6.3	6.6	1.1	4.0	5.5	17.7
1～4	372	81.4	18.6	0.1	0.1	—	0.1	—	0.6	—	—	0.6	1.6
5～9	545	77.2	22.8	0.7	0.4	0.1	0.6	0.9	0.5	—	0.1	2.0	2.9
10～14	547	81.5	18.5	0.9	4.5	0.8	0.6	1.8	0.3	0.6	0.8	1.5	1.6
15～19	420	80.0	20.0	3.9	6.2	—	0.2	4.4	0.8	0.1	—	3.8	6.8
20～24	405	74.4	25.6	3.2	5.7	1.2	0.8	6.9	1.6	—	0.8	3.5	3.1
25～29	351	60.3	39.7	2.0	14.4	0.1	1.2	4.6	0.1	0.1	1.6	1.3	10.6
30～34	460	53.3	46.7	3.8	14.0	3.6	2.3	5.6	0.9	0.1	0.8	4.1	15.6
35～39	643	51.4	48.6	3.1	17.8	1.0	4.9	10.4	1.0	0.2	0.8	4.9	13.2
40～44	790	62.2	37.8	1.8	12.6	0.9	2.3	7.6	1.0	0.1	2.0	6.5	13.8
45～49	894	61.4	38.6	2.1	12.2	1.3	2.4	7.8	2.2	0.2	4.4	7.3	14.4
50～54	1,063	45.6	54.4	2.5	10.2	2.4	4.6	10.9	4.7	2.1	2.4	9.5	28.2
55～59	987	47.6	52.4	4.0	11.9	2.0	7.6	8.5	5.3	1.4	3.3	8.6	29.3
60～64	1,070	51.6	48.4	4.6	9.3	2.8	6.0	12.8	10.8	0.7	5.0	5.9	22.0
65～69	1,318	52.2	47.8	3.3	6.2	1.6	5.2	7.0	7.2	1.1	5.2	7.8	25.4
70～74	1,601	54.5	45.5	4.5	5.5	3.6	3.4	6.4	9.3	1.2	6.0	6.2	21.3
75～79	1,485	57.6	42.4	3.0	2.8	2.5	2.8	2.7	12.3	2.4	6.6	5.3	17.5
80～84	994	54.1	45.9	2.6	5.0	3.1	1.9	4.5	12.6	1.4	8.4	4.2	20.6
85～	696	54.8	45.2	2.8	2.4	5.1	2.8	2.0	22.1	3.4	9.3	2.3	19.1

注：1) 割合 (%) は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

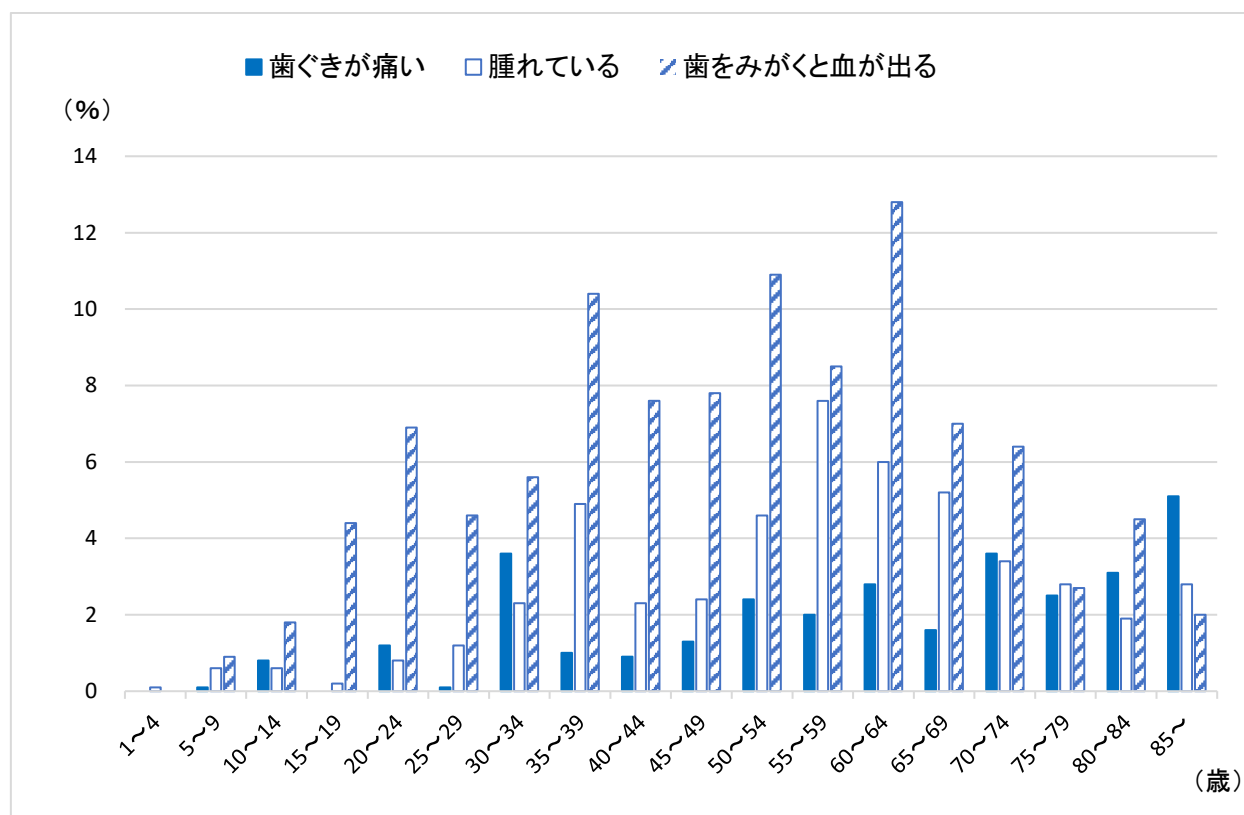
2) 複数回答可。

3) いずれか1つでもある者。



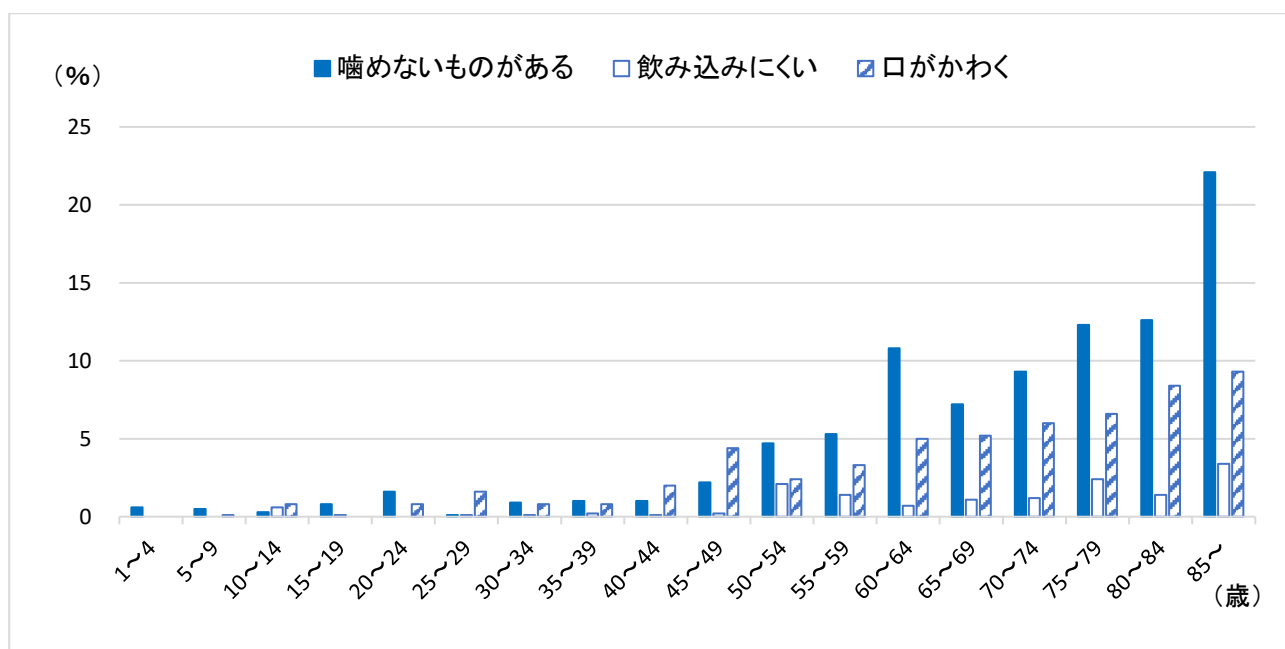
注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 24－１．歯の症状、年齢階級別（１歳以上）



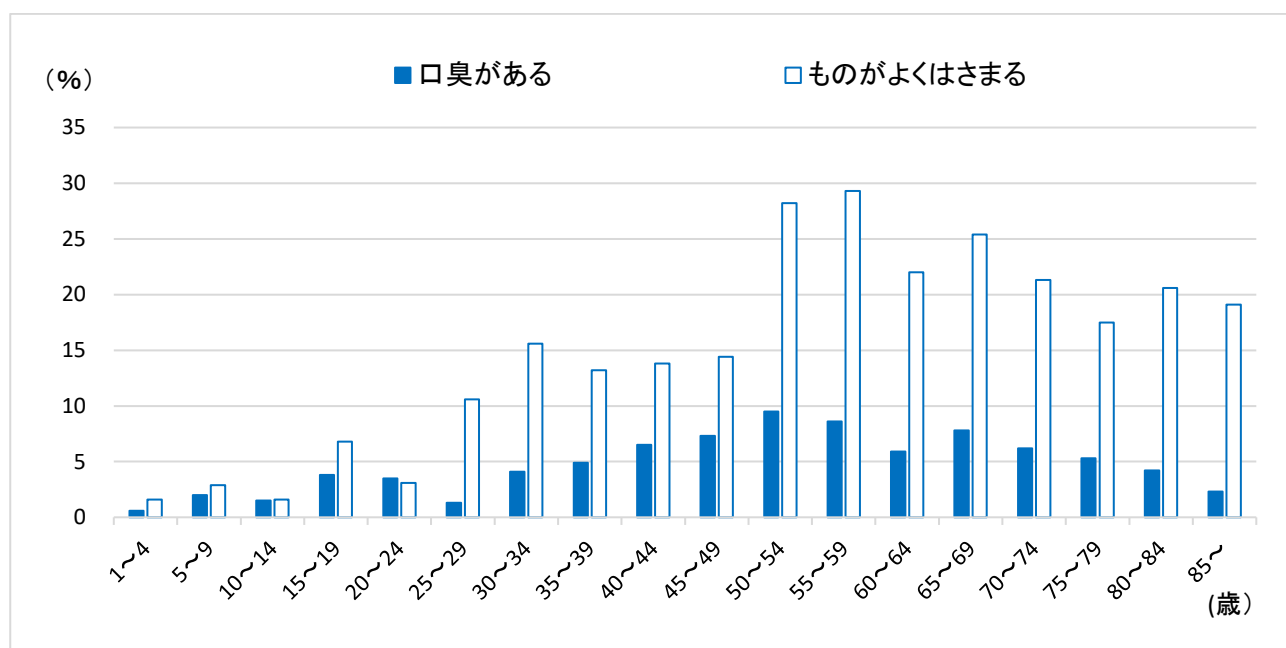
注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 24－２．歯ぐきの症状、年齢階級別（１歳以上）



注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 24－3．口の機能、年齢階級別（１歳以上）



注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 24－4．その他、年齢階級別（１歳以上）

6. 歯や口の清掃状況

歯ブラシを用いた清掃に加えて、歯間清掃用具等を用いて歯や口の清掃を行っている者の割合は63.4%であった（表25）。

表 25. 歯や口の清掃状況、性・年齢階級別（1歳以上）

性別	年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	歯ブラシを用いた歯みがきに加えて歯や口の清掃を行っているか ¹⁾ (%)			
			行っている ²⁾			行っていない
			総数	デンタルフロス や歯間ブラシを 使って、歯と歯 の間を清掃して いる	舌を清掃してい る	
総数		14,506	63.4	54.2	23.0	36.6
男	総 数	6,644	53.9	44.5	18.4	46.1
	1～4	184	36.7	34.0	3.1	63.3
	5～9	274	42.5	40.6	2.8	57.5
	10～14	277	33.8	30.9	7.6	66.2
	15～19	205	41.1	27.7	19.2	58.9
	20～24	186	43.7	22.9	23.3	56.3
	25～29	148	72.2	38.8	39.5	27.8
	30～34	217	59.1	43.8	26.9	40.9
	35～39	278	65.6	47.3	29.3	34.4
	40～44	354	67.4	55.4	34.0	32.6
	45～49	401	58.6	46.8	24.3	41.4
	50～54	472	61.5	49.8	25.9	38.5
	55～59	411	58.9	47.8	15.6	41.1
	60～64	489	49.3	45.2	10.6	50.7
	65～69	601	57.1	50.2	14.5	42.9
	70～74	736	55.4	49.4	16.9	44.6
	75～79	702	58.5	49.3	19.7	41.5
	80～84	441	54.0	48.5	16.8	46.0
	85～	268	32.4	27.7	14.2	67.6
女	総 数	7,862	71.4	62.4	26.9	28.6
	1～4	180	46.2	43.2	7.8	53.8
	5～9	262	48.4	45.4	7.5	51.6
	10～14	268	54.1	40.7	20.5	45.9
	15～19	209	44.6	34.8	14.2	55.4
	20～24	218	64.9	49.7	33.3	35.1
	25～29	199	69.7	52.7	38.7	30.3
	30～34	242	76.6	70.1	30.0	23.4
	35～39	362	81.0	71.3	31.7	19.0
	40～44	432	79.0	68.5	34.3	21.0
	45～49	490	77.7	69.8	33.2	22.3
	50～54	587	77.8	68.9	29.3	22.2
	55～59	574	82.2	75.6	26.4	17.8
	60～64	575	73.1	64.8	20.3	26.9
	65～69	705	77.3	70.2	27.5	22.7
	70～74	853	76.7	71.0	26.2	23.3
	75～79	768	76.0	65.7	27.8	24.0
	80～84	535	71.5	57.1	34.2	28.5
	85～	403	43.1	34.1	17.6	56.9

注：1) 割合(%)は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

2) 複数回答可。

3) いずれか1つでもある者。

7. 歯科検診（健診）の受診状況

「この1年間に歯科検診（健診）を受けましたか」という質問に「受けた」と答えた者の割合は、全体の63.8%で、男性60.6%、女性66.5%であった。「受けた」と答えた者の割合が最も高かったのは10～14歳の男性で97.8%、最も低かったのは20～24歳の男性で36.4%であった（表26、図25）。

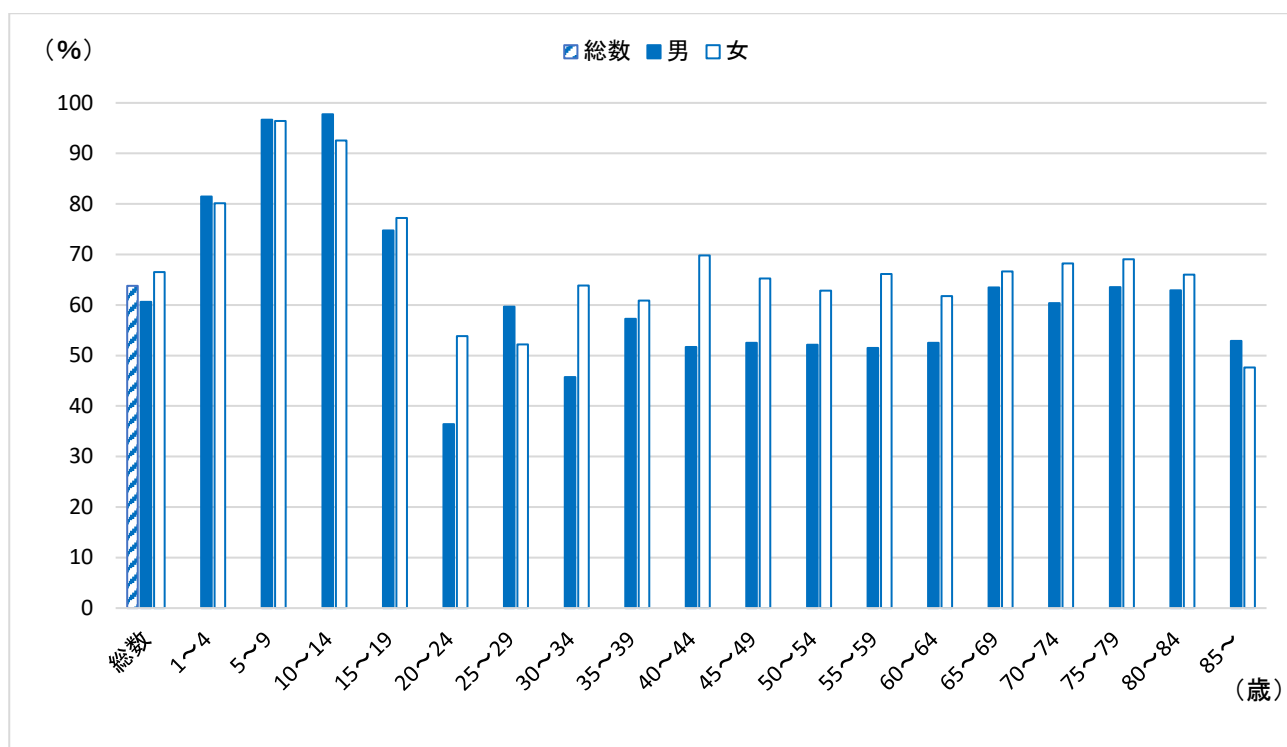
過去1年間に歯科検診（健診）を受診した者の割合を受診機会別に見ると、最も多かったのは「（かかりつけ）歯科医院での定期的な検診（健診）」で55.7%であった（表27、図26）。

表 26. 歯科検診（健診）を受診している者の割合、性・年齢階級別（1歳以上）

年齢階級 (歳)	総数			男			女		
	被調査 者数 (人)	受けた者		被調査 者数 (人)	受けた者		被調査 者数 (人)	受けた者	
		人数 (人)	割合 (%)		人数 (人)	割合 (%)		人数 (人)	割合 (%)
総数	14,648	8,836	63.8	6,714	3,788	60.6	7,934	5,048	66.5
1～4	369	303	80.8	186	151	81.5	183	152	80.2
5～9	548	522	96.6	278	260	96.7	270	262	96.4
10～14	549	528	95.2	278	265	97.8	271	263	92.6
15～19	420	332	76.1	207	158	74.7	213	174	77.2
20～24	404	165	45.1	186	60	36.4	218	105	53.8
25～29	350	172	55.1	150	59	59.6	200	113	52.2
30～34	461	241	55.5	218	98	45.7	243	143	63.9
35～39	644	349	59.5	281	134	57.3	363	215	60.9
40～44	790	446	62.9	359	168	51.7	431	278	69.8
45～49	895	499	59.3	405	201	52.5	490	298	65.2
50～54	1,063	572	58.3	477	223	52.1	586	349	62.9
55～59	988	560	59.4	413	192	51.5	575	368	66.1
60～64	1,067	619	57.2	493	260	52.5	574	359	61.8
65～69	1,317	758	65.1	607	320	63.5	710	438	66.7
70～74	1,605	978	64.6	741	418	60.4	864	560	68.2
75～79	1,491	922	66.5	710	422	63.5	781	500	69.1
80～84	993	568	64.6	449	261	62.9	544	307	66.0
85～	694	302	49.8	276	138	52.9	418	164	47.6

注：1）割合（%）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

2）「歯科検診（健診）」には、（かかりつけ）歯科医院での定期的な検診（健診）、自治体（市町村など）の検診（健診）、学校健診、職場検診（健診）、その他（複数回答可）を含む。



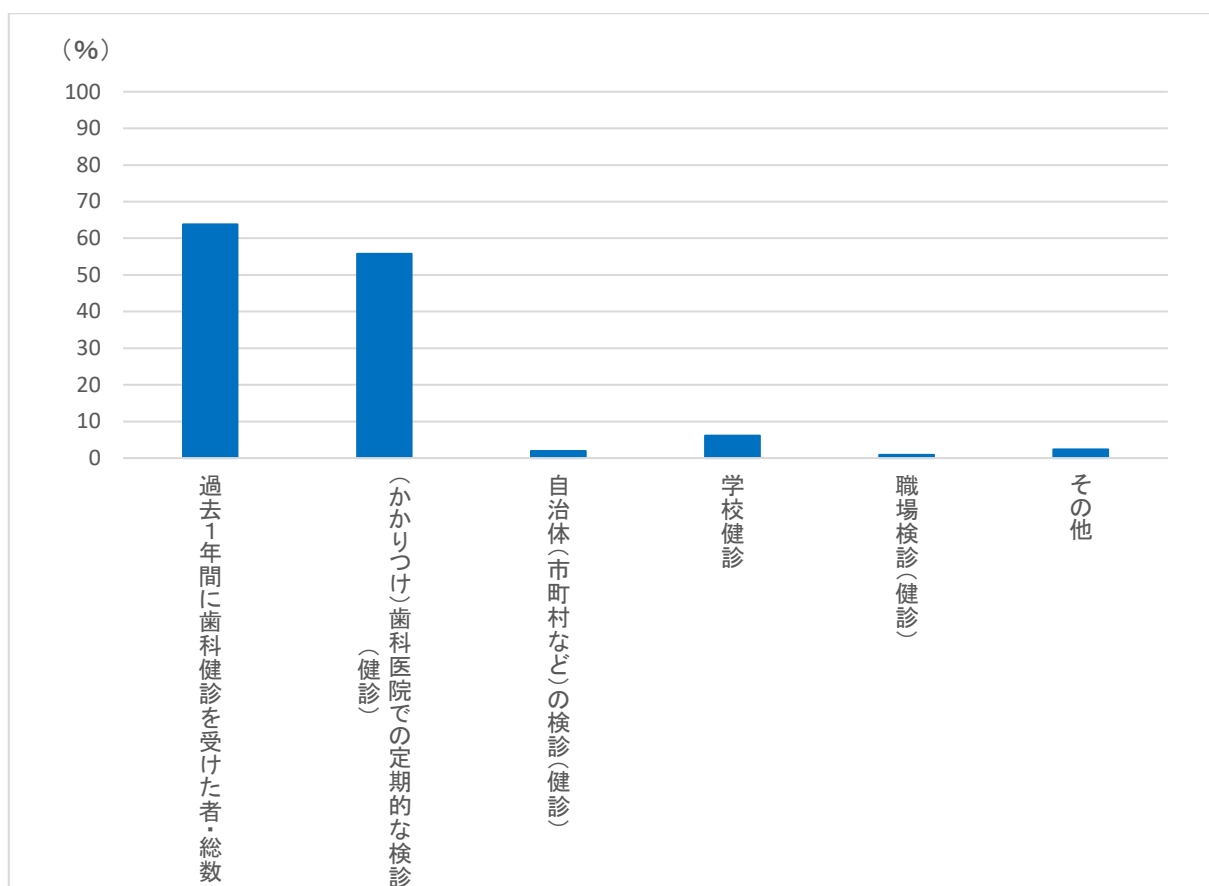
注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 25. 歯科検診（健診）を受診している者の割合、性・年齢階級別（1歳以上）

表 27. 過去 1 年間に歯科検診（健診）を受診した者の割合、受診機会別（1歳以上）

受診機会	被調査者数（人）	歯科検診（健診） 受診機会（人）	歯科検診（健診） 受診機会（％）
総数	14,648	8,836	63.8
（かかりつけ）歯科医院での 定期的な検診（健診）	14,648	7,637	55.7
自治体（市町村など）の検診 （健診）	14,648	194	1.9
学校健診	14,648	1,056	6.2
職場検診（健診）	14,648	110	0.9
その他	14,648	335	2.3

注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。



注：割合（％）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図 26. 過去 1 年間に歯科検診（健診）を受診した者の割合、受診機会別（1 歳以上）

8. 矯正歯科治療の経験の有無

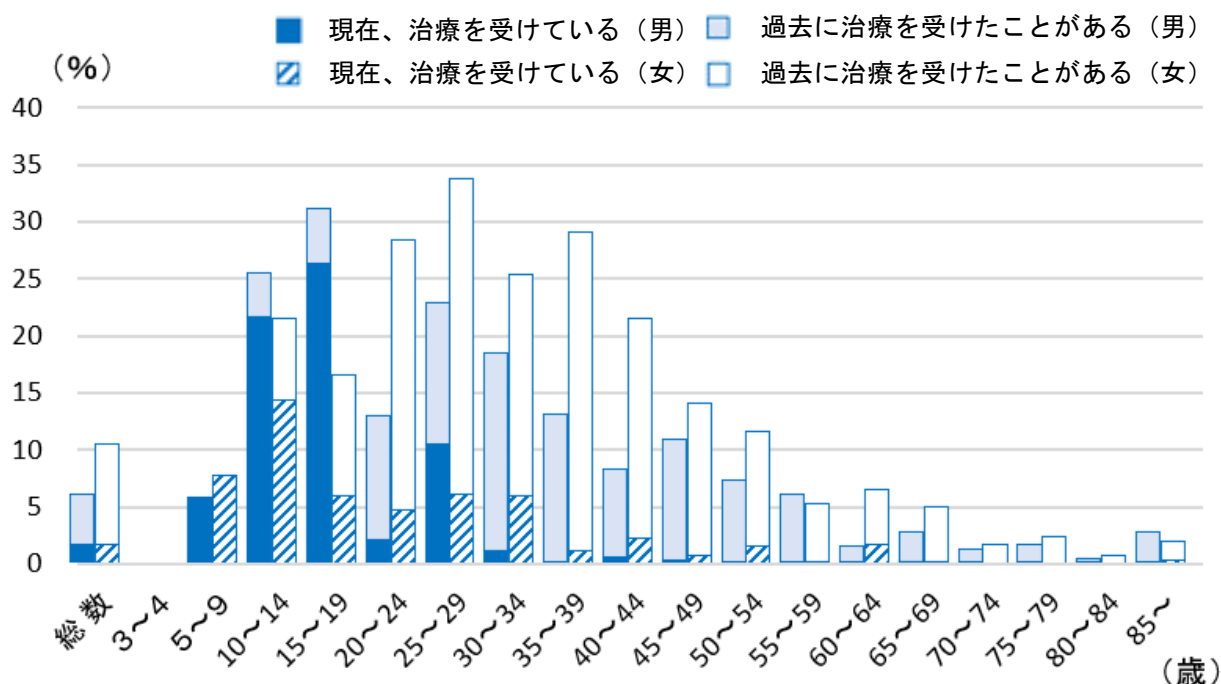
矯正歯科治療の経験がある者の割合が最も高かった年齢階級は、男性では15～19歳で31.0%、女性では25～29歳で33.8%であった（表27、図26）。また、「現在、治療を受けている」者の割合が最も高かった年齢階級は男性では15～19歳で26.2%、女性では10～14歳で14.4%であった。

「過去に治療を受けたことがある」者の割合が最も高かった年齢階級は男性では30～34歳で17.4%、女性では35～39歳で28.0%であった（表28、図26）。

表28. 矯正歯科治療の経験の有無、性・年齢階級別（3歳以上）

年齢階級 (歳)	男						女					
	被調査者 数 (人)	ない (%)	今後、治 療を受け る予定が ある (%)	ある (%)			被調査者 数 (人)	ない (%)	今後、治 療を受け る予定が ある (%)	ある (%)		
				総数	現在、治 療を受け ている	過去に治 療を受け たことが ある				総数	現在、治 療を受け ている	過去に治 療を受け たことが ある
総 数	3,758	93.5	0.5	6.0	1.6	4.5	4,632	88.1	1.3	10.6	1.8	8.8
3～4	58	92.3	7.7	-	-	-	48	84.4	15.6	-	-	-
5～9	163	90.5	3.8	5.7	5.7	-	150	79.2	13.0	7.8	7.8	-
10～14	135	72.6	1.9	25.4	21.6	3.9	129	71.5	6.9	21.6	14.4	7.2
15～19	64	69.0	-	31.0	26.2	4.8	79	82.1	1.2	16.7	6.0	10.7
20～24	71	87.2	-	12.8	2.0	10.8	84	66.5	5.1	28.4	4.8	23.6
25～29	59	76.8	0.4	22.8	10.4	12.4	107	66.0	0.2	33.8	6.1	27.7
30～34	107	81.6	-	18.4	1.0	17.4	123	69.5	5.2	25.3	5.9	19.4
35～39	129	87.0	-	13.0	-	13.0	207	69.7	1.1	29.1	1.1	28.0
40～44	171	89.2	2.6	8.2	0.5	7.8	268	78.1	0.3	21.6	2.3	19.3
45～49	205	89.0	0.2	10.8	0.2	10.6	290	85.9	-	14.1	0.8	13.3
50～54	221	92.8	-	7.2	-	7.2	332	88.4	-	11.6	1.6	10.0
55～59	222	94.0	-	6.0	-	6.0	357	94.6	0.1	5.3	0.2	5.1
60～64	293	98.6	-	1.4	-	1.4	368	93.4	-	6.6	1.7	4.9
65～69	405	97.3	-	2.7	0.1	2.6	452	94.9	-	5.1	0.2	4.9
70～74	502	98.9	-	1.1	-	1.1	564	98.1	0.2	1.7	-	1.7
75～79	467	98.4	-	1.6	-	1.6	519	97.3	0.3	2.4	-	2.4
80～84	323	99.5	0.2	0.3	0.1	0.2	349	99.2	-	0.8	-	0.8
85～	163	97.3	-	2.7	-	2.7	206	98.0	-	2.0	0.3	1.8

注：割合（%）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。



注：割合（%）は各都道府県の人口規模が反映されるように調整された全国補正值であり、単なる人数比とは異なる。

図27. 矯正歯科治療の経験の有無、性・年齢階級別（3歳以上）

Ⅲ 巻末資料

Ⅲ－１．調査票

厚生労働省



統計法に基づく国の統計調査です。調査結果の秘密の保護に万全を期します。

政府統計

歯科疾患実態調査票

(令和6年10月・11月調査)

地区 番号

市郡 番号

世帯 番号

世帯員 番号

調査日 令和6年 月 日

都道府県 保健所

(1) 性別 1. 男 2. 女 (2) 生年月日(西暦) 年 月 日

(以下の(3)～(6)について、あてはまる番号に○をつけてください。)

(3) 歯や口の状態について気になることはありますか？
 1. ない 2. ある
(3-1) ((3)で「2.ある」と回答した方に伺います。)
気になることとして当てはまるものはどれですか？(複数回答可)
 歯の症状 → [1. 痛い 2. 冷たいものや熱いものがしみる]
 歯ぐきの症状 → [3. 痛い 4. はれている 5. 歯をみがくと血が出る]
 口の機能 → [6. 噛めないものがある 7. 飲み込みにくい 8. 口がかかわく]
 その他 → [9. 口臭がある 10. ものがよくはさまる 11. その他]

(4) 歯をみがく頻度はどれくらいですか？(歯が全くない人は回答不要です。)
 毎日みがく (1. 1回 2. 2回 3. 3回以上) 4. ときどきみがく 5. みがかない

(5) (歯ブラシを用いた歯みがきに加えて、)以下の歯や口の清掃を行っていますか？(複数回答可)
 1. デンタルフロスや歯間ブラシを使って、歯と歯の間に清掃している
 2. 舌を清掃している
 3. 行っていない

(6) あなたはこの1年間に歯科検診(健診)を受けましたか？(本調査は含みません。)
 1. 受けた 2. 受けていない
(6-1) ((6)で「1.受けた」と回答した方に伺います。)
どのような歯科検診(健診)を受けましたか？(複数回答可)
 1. (かかりつけ) 歯科医院での定期的な検診(健診) 2. 自治体(市町村など)の検診(健診)
 3. 学校健診 4. 職場検診(健診) 5. その他

(以下は問診・診査時に調査員が記入すること)

(7) フッ化物応用の経験の有無(複数回答可)
 1. フッ化物塗布 2. フッ化物洗口 3. フッ化物配合歯磨剤の使用 4. ない 5. わからない

(8) 矯正歯科治療の経験の有無(3歳以上の者)
 1. 現在、治療を受けている 2. 過去に治療を受けたことがある 3. 今後、治療を受ける予定がある 4. ない

(9) 歯・補綴の状況

上顎永久歯

8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
(右) 乳歯								(左)							
E D C B A A B C D E															

永久歯下顎

8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8

【歯の状況】
 健全歯: / 白濁・白斑・着色歯 ⑦
 未処置歯: C (歯冠部のう蝕)
 : R (根面部のう蝕)
 : RC (歯冠部＋根面部のう蝕)
 処置歯: O (充填・クラウン・ブリッジ支台)
 喪失歯: △ (要補綴歯)
 喪失歯 ④ (義歯・ボンテック・インプラント)
 ※先天性欠如または何らかの理由で歯を喪失したことが明らかであっても、歯列等の関係から補綴治療の必要性が認められないものは「×」を記入

【補綴の状況】
 補綴部の範囲と記号を記載
 全部床義歯: FD
 部分床義歯: PD
 架橋義歯: Br
 インプラント: Im (埋入部に記載)

(10) 歯肉の状況(永久歯列)

7・6 1 6・7

BOP															
PD															
PD															
BOP															

7・6 1 6・7

①歯周ポケット(PD)

0: 4mm未満
 1: 4mm以上6mm未満
 2: 6mm以上
 9: 除外歯
 X: 該当歯なし

②歯肉出血(BOP)

0: 出血なし
 1: 出血あり
 9: 除外歯
 X: 該当歯なし
 ※歯石がある場合は数字に○